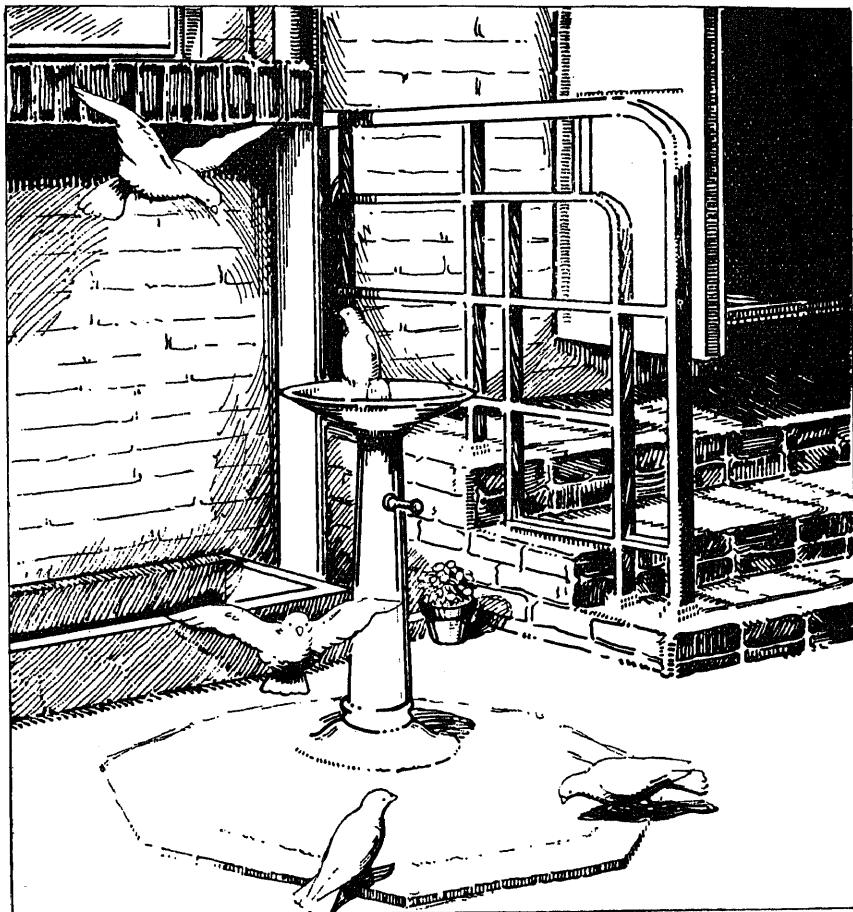


幼兒の教育

號五第 號月五 卷五十三第



東京女子高等師範學校内会
日本幼稚園協会

廣島大學內科

應用心理研究會編

菊 制 洋 裝
定 價 壹 圓 貳 拾 錢

應用心理研究 特輯增大號

現代應用心理學概觀

心理學が醫學、文學、思想教育、社會問題等、各方面に有する關聯の深さは驚くべきもので輓近のそれは學窓より街頭に出て直接生活に必須のものとして極めて實際的問題となつて來た。雜誌「應用心理研究」は之等の必要に基き一は諸大家が心血を注がれたる研究の發表機關とし他面一般社會の心理學應用の理解を深かからしめんが爲創刊以來既に三卷を重ねて來た。今現代斯界の十二大家に乞ひその大研究を特掲増大號として公にする事の出來たのは小館の最もする所である。

次目容内

岸古久松石鈴上小山中牛高
本賀保井井木野向島橋
惣行良三俊義次道義布
吉義英雄瑞信雄郎雄保友藏

文 學 博 士

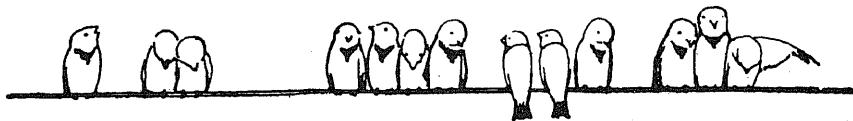
現代心理學叢書

編二第

精神分析學

冊一全綴洋判菊定送
圓四價料廿二錢
圓二廿二錢

東辨天町牛市一込七四四五三三八三四二四二番七 發行所中文字書館店



號五第 幼兒教育の育教 第三十五卷

—(次) 目—

口 繪

卷頭(五月の日光).....	倉橋惣三(一)
都市幼兒教育の問題(二).....	倉橋惣三(二)
農繁期託兒所の經營.....	朝原梅一(四)
童話の教育的價値.....	田中兵治(二四)
英國文部省の幼兒保育指針.....	白根孝之(二元)
幼稚園カラヂオ.....	倉橋惣三(四〇)
兒童心理學文獻抄(七).....	牛島義友(四)
一年間の保育(二).....	宮本光代(五)
縁植の一、二に就て.....	大岩金(五)
童話故事の物語.....	中野好夫(六)
雜錄.....	(空)

講侍元田永孚

先撰・蘆谷重常生謹譯

◆定價二

十四圓

明治勅語全譯 幼學綱要

四六判五百數頁
總本原插畫八十四頁
附總本原插畫八十四頁

明治大帝の聖慮に
基く勅撰訓話集！
小學兒童にも讀め
る徹底的口語詳說
新興日本の道德
的再建を目指して
萬部普及計畫！

幼學綱要是、明治天皇が教育勅語済發に先だち、國民道德の模範を示す思召しから侍講元田永孚に命じて撰進せしめ給ひ、全國小學校に恩賜せられた勅撰訓話集である。全七卷二十章中に、和漢に亘り美譯逸話二百二十九を收め、教育勅語の大精神も又本書中に顯現されてゐる。たゞ原文が當時の漢文直譯體で難解なる爲に、多くは奉安室に納められ道徳聖典として活用されることが少なかつたのは正に聖代の遺憾事である。本書は此の國民的大寶典の全國的普及を目的として原書全部を小學兒童にも読み易い口語文に謹譯し、これに詳細なる歴史的地理的註釋を加へたものである。從來世に出た一二の類書は原書の抜萃であり、或は原文の佛を全く止めざる再話集で、本書の内容とは比すべくもない。學童の讀物として、又教師や父兄の話材集として此に超ゆるもの無し。非常日本に明治大帝の御聖德を偲び、道德國家確立のためにも、全日本が擧げて就くべきは此書である。

關根文之助氏著
大人日日の偉人
の力

定價一圓四十錢
送料一圓二十四錢
十二四錢圓

姉崎正風氏編
佐々木秀一氏著
續黒偉人物語

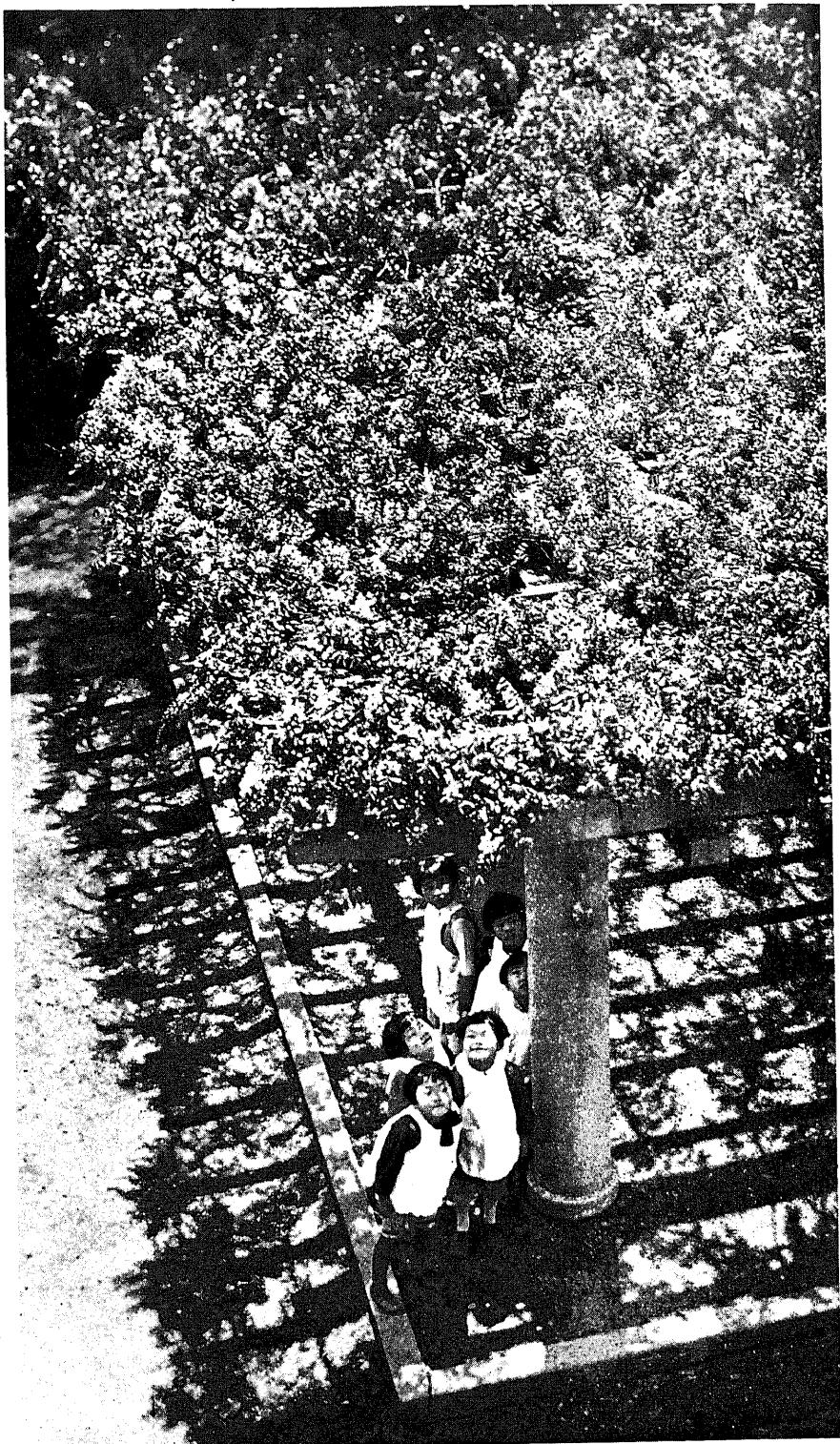
人生逸話
續佛陀の面白い話

定價一圓五十錢
送料一圓四十四錢
十八四錢圓

出版料
目錄呈
出無

東京・麹町下六番町
電話九三二一八〇六九五京東報

のほむく子達（藤棚）





(二倍大)

貝金止帶作特氏三寶子名目
(賞選入謠童話童集募會本)

光日昭和十年五月の児育教

昭和十年五月

五月の日光

むくくこして自然のいのちの盛りあがる五月の土に、草も木も、生育の力に張り切つてゐないものはない。しかも、盛りあがる土のいのちに晴々こ笑みかけて、一切の生育を思ひのまゝに遂げさせてゐるものは、五月の日光である。

うつこりこ蒸し育てる春の日でもなく、厳しく促し立てる真夏の日でもなく、たゞ自ら明るく、自ら爽かに、ひろぐこ打ち擴がつてゐる五月の空である。その下にこそ、若葉も潤達の意氣を與へられ、若芽も進展の氣力をのびのびさせられてゐる。

強くて育てるのでもない。激しく勵ますのでもない。たゞ自らわだかまりなき明朗さにれて、育つものを育たせるのが五月の日光である。

都市幼兒教育の問題

(二)

—或る講習會の速記—

倉 橋 惣 三

(三) 幼兒の遊戲活動に關して

その色々考慮を要するものゝ中で、殊に今日の幼稚園に重要性の多いものを茲に代表的に取出して見たいのであります
が、先づ遊戲の問題であります。遊戲といふことは子供の生活に取りましては勿論非常に大事なものであります、今日
の幼稚園或は低學年に於て用ひられて居ります遊戲といふものは、何處に重點を置かれて居るかといふことは考慮した方
が宜いと思ふ。或は色々な仕事をさせたりすることは教育的になり過ぎるかも知れませんが、遊戯の方は子供が好きでや
つて居るのであるから、一番幼稚園らしくて良いものだ云ふ人があるかも知れませんが、そこを私はもう少しつゝ込ん
で考へてみたいと思ふ。

今日教育に於て子供の遊戯が尊重されて居る立場は私は大體四つ考へて見る。その一つは體育主義である。勿論遊戯こ
いふものは體育上良いものに相違ない。第二には情操主義、これも結構な立場に相違ない。その次には情操主義を一層し

つこいものにしまして藝術的教育といふ立場から遊戯を尊重する。その藝術教育が更にしつこくなりまして、遊戯といふものを見世物主義でやる人も中にはあります。遊戯が上手か下手か、人に見せるに都合の良いものでありますから、かういふ影響も生ずるのであります。併しながら體育のために效果があるとか、情操教育、藝術教育の上に效果があるとかいふことは勿論遊戯に取りまして大事なことでありますけれども、子供の生活の側から見ました遊戯の意義は、もう少し外の所にあると私は考へるのであります。遊戯といふものに依つて生じ來たる教育的效果は、體育であり、情操教育であり、藝術教育でありませう。けれども遊んで居る時の子供がさう生活して居るのか。何が子供に遊戯の樂しみを與へて居るのであるかといふ、子供の側に就いて考へてみますと、全くこれは違つたものが考へられると思ふのであります。決して子供は體育のために遊戯をして居るのではありません。暫く遊んでみて健康を考慮するといふこともなければ、或は頻りに奇麗なことをやつてみて情操が陶冶されて來たといふやうなことを思ふのでもない。そんなことは先生だけが考へて居る話であつて、子供の方から云ひますと、私は遊びの面白さといふものは三つあると思ふのであります。その一つは、遊んで居る最中に於きまして、ものに關係して來ませんから、かなりな自由感が與へられるのである。自由感といふものを除いてしまつたら、子供の遊びといふものの生命はなくなつてしまふ。即ち何がものにつつ付いて行きます時にはさう自由には行きません。例へば繪を書く時には、如何に自由書くと云ひますけれども、そんなに自由に行くものではないと思ふ。例へば自由書でコップを書きまして、それがコップのやうに見えなくては自分でも落付けません。私が決して繪を書きませんのは、その窮屈なことが嫌ですから、私の書いたものはさうも似て來ないので繪を書きません。たゞ何でも宜いから書けといふなら私は幾らでも書くのでありますけれども、兎に角似なくてはいかぬ。又字を書くといふ時にも、字の巧い拙いは假に別としましても、山といふ字はさういふ恰好さきまつて居る。子供がそ

の窮窟を樂しんで居りますか。お手本はこゝが長くてそこで止めるのだといふやうな窮窟を樂しんで居る所もあります。けれどもくしやゝを書いて所謂自由畫を出したのではものにならない。話をするのでもやたらに自由には行きません。先刻、かういふことを話すのを樂しんで居る云つて下さいまして、實際樂しんで居りますが、併しこゝへ来て樂しんで居るから云つて目茶苦茶なことを言つて居る譯には行かぬ。兎に角ちやんとしたことを言つてゐなくてはなりません。私は英吉利に居りました時に非常に面白い子供に遇つた。それは英吉利に行つて居ります日本人の子供であります。英吉利に相當長い間居るので、四つ位の子供であるが、英語も中々分る。そこで西洋の人々英語で話をします。けれども少し混入つて來ます子供が小さいから分らない。私共ならばそれを色々苦しんでやつて、餘り旨く行かぬをやめてしまふ。西洋人を暫く話をした後は三日位冰鑿でも頭に乗せなければならぬよう疲れる。所がその子供は簡単な英語で話をして居りますが、その内に混入つて來ます、たゞべらへでたらめを言つて居ります。私共がでたらめを云つたら相手もびつくりしませうけれども、相手よりもこちらがびつくりしてしまふ。その子供はべらへ云つてそれで宜いことを思つて居るのであるから、實に羨ましいと思つた。何か口を動かしてゐればいいと思つて居る。その中に英語が出る所もあります。何處の國の言葉でもないものも出ることもありませう。けれども實際に於ては話をする時にそんな自由な感じは出來ませんで、兎に角矢張りエクスプレッショńをして行かなければならぬ。歌はも少しそれらより自由である。殊に鼻歌なきはかなり自由であります。口ではない鼻だなんて云つて、鼻の力に責任を託して居りますけれども、常磐津か清元か義太夫か分らぬやうなことを云つて歩いて居る人がある。實に自由感に浸つて居るものであります。が、矢張り歌でもふいふものはあります。歌には言葉が入つて居りますから、少しは目茶苦茶のでたらめを云ひながら一寸變に思ふ。所が遊戯になります、これは思ひ切つて自由に行くのであります。皆様が遊戯

云ひます。遊戯で習つたものを一つでも違ふと叱られるごお思ひになるかも知れませんけれども、子供の氣持が、もともと起つて來た時には、その起つて來た氣持を單に手足を動すことに現はすのでも遊戯であります。あなた何をして居るのか云つても構はぬ。確かに所謂形をなしてゐる。たゞ溢れて來たエモーションが身體活動になつて來た遊戯が自らリズムに合つたものは實に自由であります。この自由といふものが遊戯の中の實に重大なる要素をなして居るものであります。

第一にはこの自由さの中に自分をすつかり忘れて居るのが遊戯の特色である。言換へれば、自分を忘れてゐなければ遊戯の特色になりません。歌の方は餘程觀念が入つて居りますから、自分を忘れてしまふ譯にはいかぬ。良い氣持になつて何を云つて居るのか忘れてしまつたら、その次の文句が分らない譯であります。遊戯の方は踊つて居る内に自分の中に出て來るものが自分の運動に出て來るものであるから、自分の中に出て來たものを自分が意識する必要がない。意識を伸立てしない生活活動でありますから、こゝに自分を忘れるのであります。私はこの夏田舎の温泉に居りました間、よく夜になつて盆踊りを見ました。その盆踊りをやつて居るのを見るご、生れながらにして下手な人が居る。初の内はその人は心配して廻りの人のを見ながら時々頭を搔いたりきまりの惡さうな顔をして踊つて居ますが、その内に所謂自己を失つてしまつて、何だか知らぬごとをやり出す。それが遊戯の所謂クライマックスである。自分を始終意識して居る間は遊戯といふものゝクライマックスに行くものではありません。この自己を意識しなくなることが遊戯の特色である。

もう一つの問題は、少し意味が違つた問題であります。子供がさういふ風に遊んで居ります所謂遊戯を見ます。あの遊戯の中で筋肉が伸びて行くものであることは申すまでもありません。競走をする時には、一ぱい脚を伸ばすことが愉快かいふご、腕が伸びるごとが愉快であることは申すまでもありません。筋肉の一ぱいの緊張といふことに愉快がある。筋肉の一ぱいの緊張を合せて精神の一ぱいの緊張が、所謂イ

ンスチンクチブ即ち本能的な生活が一ぱいに發揮されて行く所が遊戯の一つの大きな面白い點である。石蹴をしても本能であります。競争をしても本能であります。ぢやんけんをしても本能であります。かういふことを眺めて來ますと、私は子供の遊戯といふものは、自由感、忘我、第三には筋肉にしても本能感情にしても、伸び々々それを外へ發揮して行く所にあると思ふのであります。

所が今日の幼稚園……低學年もどうかと思ひますが……の遊戯を見ますと、それとまるきり別の傾向に行つてゐるのでないかと思ふ。實に自由感ではありません。私は幼稚園でやる色々なことを見ました。私程幼稚園のあらを知つて居る人間はなからう。幼稚園を見てゐて情なくなる。子供が色々勝手なことをやつて居りますと、先生が「さ、お遊戯」と呼びます。そのお遊戯と呼ばれた丁度その時、子供が一つ何とか一番踊りたいなといふ氣持で居るならば宜いでせうが、私は子供はそんなに踊りたがるものではないと思ふ。殊に先生が静かにピアノでも彈いてゐて下さつて、その部屋の前を通りがかりにピアノの音が聞えたので、むら～～と踊りたくなつて來たいふことはあるかも知れませんけれども、子供が外で友達同志で色々なことをやつて居る時に、何か一つ藝術的な踊りをやりたいなといふやうな氣持が起るときは、決して子供にあるものではない。それを先生が遊戯をしませうと云つて集めるのであります。さうする子供はそこに集つて来て、その中にはまたあれか、さうんざりした氣持を起す者もありませう。多くて十か十五の遊戯を繰返し繰返しやつて居る場合に於きましては、またあれかといふうんざりした氣持が起るときは、決して子供が遊戯をピアノに依つてやらせる。又例の揃はせまして、さ、さやる。子供は横を向いて面白い外のことを考へて居る。それを先生が遊戯の中に入れて来て、なぜあなたは踊らない、なぜしないといふ時に、所謂自由感といふものは全く反対のものとなつてしまふのであります。私は幼稚園に於て子供に常に自由感を持たして置かなければならぬといふことを主張して居る

のではありません。教育といふ子供に對する儼然たる意義を持つて居るのでありますから、自由感ばかり訴へて行かうといふのではありませんが、遊戯といふものから自由感をなくすとその存在價値を認められないといふ意味からしまして、遊戯の中に自由感の失はれて居ることは大きな問題であると思ふのであります。

又遊戯をやつて居ります中に、先生が色々とかうしてあゝしていふことを御注意になる。私は幼稚園の遊戯の教へ方といふものに就いて、低學年の遊戯の教へ方も同じだらうと思ひますが、決して子供がやつて居ります間に、そこに行つてあなたの足の踏み方が違つてゐる、手の上げ方が違つて居る、かうするのだ、あゝするのだといふやうな教へ力をすべきではないと思ふのであります。これは私のひがんだ解釋かも知れませんけれども、皆さんが遊戯の講習をお受けになります時には、大抵遊戯指導の先生が皆さんを踊らして置いてきよろ／＼見て廻つて、そこはいかぬ、あそこはいかぬとやつて居る。成程先生が一番初に一寸踊つて見せるか知れませんが、踊つて見せる時には皆見て見て云つて、踊りながら自分の踊りを意識して見せてくれるのです。さういふ中で遊戯の講習をお受けになりまして、今度幼稚園に行つて子供に對して行く時に、その方法をお取りになるのではないかと思ひます。先生は一生懸命にピアノを弾いたら宜しいではありませんか。そしてピアノの力で子供を踊らしたら宜い。ついでに悪口を云ひますが、そのピアノはろくに彈けもない癖に(笑聲)ピアノの方には一生懸命になれないで、自分はちゃんとこんな彈き方をしながら、それはいかぬ、これはいかぬ、誰の手が上つた、どうだと言つて居られますが、これでは折角子供が遊びの中で自己を忘れようとして居るのを又自分を意識にかへすものであつて、これは非常に拙い遣方ではないかと思ふ。中にはぢつこしててやり切れない、ピアノを放擲してふつこ出て來て、外の子供はどうしたのかと思つてゐる、又あなたはいけない云つて叱つて居る。踊りの師匠ならこれで宜しいと思ふ(笑聲)。その子を鍛へて藝名させようといふならば、弾いてゐながら撥でぶんなどるのも

宜いでせう。けれども自己を忘れるこゝを本質として居る遊戯、せめて幼稚園のリズムで社會を忘れさせようとする時に、足がさうだらうが、手がさうだらうが、彈いて弾いて弾きまくつて、リズムに酔ふまでやつたら宜いではありませんか。子供が繪を書いた時に、お前は酔つて書いたのか、コップのやうぢやないな、なんて云ふこゝは出来ません。繪を書いたら、繪は停滞表現であるから、それに代らなければならぬ。子供が何かお話をすると、でたまめを云つて居る時に、酔つて居るのだね。こゝはまさか子供には云へますまいけれども、遊戯こゝのものは私は酔ふのが本當だらうと思ふ。手の曲げ方がさうだらう、足の上げ方がさうだらうこゝは考へなくて宜いと思ふ。本來の遊戯の遣方こゝはまるで違つて居ると思ふ。先生はピアノを弾いて遊んで居る。子供は足を振り手を振つて遊んで居る。その中にピアノも要らなくなつて、先生も出て踊るこゝはやうでなければ、幼稚園の遊戯は本當でないこ考へるのであります。

遊戯こゝのものは自分の筋肉を伸ばすにあるこゝの意味からは、幼稚園の遊戯は筋肉を出来るだけ伸ばしたら宜しい。今日の遊戯は筋肉が伸びません。それは私は幼稚園の現在の遊戯に就いても非常に遺憾こ思ふ所であります。所謂藝術的遊戯になり過ぎて居ります。藝術的遊戯こゝのものは手の伸びないのが良いのださうであります。伸びながら、伸びて居るのかこ思ふ所に、縮んで居る所に味があるのでださうであります。ぶつきら棒にやつたのでは藝術にはならない。ずつこ伸びながらこ曲つて、變な角度で爪の先が皆曲つて居るのが藝術的だこいふのださうであります。殊に日本の遊戯こスペインの遊戯は何處かさうなつて居つて、カルメンが踊るにしても、何だか變に體を曲げて居ります。そこで幼稚園でも、お月様があるからお月様を見るのだこいふ遊戯に、お月様をまつ直ぐに見たらよからうこ思ふのにそれではいけない。顔はかうして、體はかうしてこ、色々な無理なこゝをしなければ感じが出て來ないのださうです。或は指差すにしても、まつ直ぐに指差してはいかぬ。廻り廻つてお月様を指差す。もう少しふつから棒にこゝよりも、すつこ伸びるこ

こになりたいと思ふのであります。しないふものは伸びさうで伸びない所にしながある。笑ひさうで笑はなかつたりする所にしながあつて非常に面白い。抑制が働くのでありますが、これは幼稚園遊戯からは取去りたい。殊に本能感情が一ぱいに伸びて行くこいふ意味に於て、幼稚園の遊戯にこの位本能が取入れられて居るかこいふことを私は非常に疑ふのであります。

皆さまは御同感かさうが知りませんが、私のこの頃聞きます多くの話では、幼稚園では女の児が遊戯を好む割合に、男の児は遊戯を好まないこいふことを屢々仰しやる。さうして如何にして男の児に遊戯を好ませるようにしてやうかこいふことを研究しておいでになるかと思ふのであります。女こいふ方は非常に男より高尚なものであります。本能なこには無關係な高尚な方でありますからそれは別でありますからそれが、男の児は本能の非常に強いものであります、その本能的に伸びて行く機會を與へられなければ、思ひ切つて面白いこいふ所に行けないのであります。そこでたゞ菜の花が散ります。春の草が生えました。摘みます。それを持つて歸つておみやに致しませう。かういつたやうなやさしい氣持では男の児はつまりません。この人形、熱はないか、お醫者さまを呼ばうか。そんなこには實につまらない。それよりも、草を取りますならば、さ、草の取りつけ、誰が一番早く澤山取つたか、こいふやうなこならば面白くなつて来る。取りつけでなくして、おみやげにしませうなんてこいふこには過重の言葉でありまして、取つて多かつた場合に土産にするだけで、初からおみやげにすることはなからう。これが教育者の非常にゆがんだものゝ見方であるこ思ふが、それを摘みくらにすれば、本能になつて来る。或は人形にしましても、この人形を喧嘩でもしようこいふこならば、そこに本能が出て來るのであるが、同情的の態度だけをやるこいふやうなこは、幼児として不適當な氣持であるこ思ふ。もう少し遊戯の中に本能要素を入れたら宜いこ思ふのであります。本能を本體とするものは藝術でありますから、遊戯に藝術性を加へてみたらこ思ふ

のであります。

ある方はかういふ結論をなさる。都會の子供は殺風景の世界に居るのであるから、幼稚園へ来て殺風景全く反対の活風景で云ふのでありませうが、非常に柔い遊戯をさせて感情を柔げたいと思ふかも知れませんが、私は都市に於て伸び伸びとするこゝの出来ないバイタリチーをこゝでは遠慮なく發揮しろと云つて宜いのではないかと思ふ。かういふ意味からしまして、折角子供の喜んで居ります遊戯といふものが、幼稚園に於てはどうも都會の子供の求むる所を満たすようにはなつてゐないと思ふ。田舎の亂暴な子供でありますならば、幼稚園に來まして柄にもなく纖細な筋肉を使ふこゝも面白いでせうけれども、さなきだに纖細のこゝで一ぱりになつて居る都會の子供を幼稚園では寧ろ野心満々たる生活を許して戴きたいと思ふのであります。今年、幼稚園の方で致しました講習で、新しい遊戯をその専門の人にお願ひまして試みましたが、どうも現在の傾向の中には先刻申しました揃ふといふことがこゝに出て来まして、皆同じこゝをして居ります。皆同じこゝをするといふのは集つてゐながら何等自分を本能的に興奮させて来る意義は一つもないと思ふ。一方が手を擧げれば皆手を擧げる。それが個人教師でなくとも、そこに團體的な役割を加味してみますれば、そこの一種のエクサイチングなものが出て來るか考へます。兎に角今日の都會の幼稚園でやつて居ります遊戯は餘りに情操的で、餘りに藝術的で、如何にも都會の殺風景な子供に適當して居るやうではありますけれども、甚だ都會の子供の真に欲して居る所を満たすものではないと申せるかと思ふのであります。

(四) 幼兒の空想性に關して

幼稚園の年齢の子供として、都會に於て最も押え付けられて居ります者は、イマヂネーションに陥ることには申すまでもないことがあります。このイマヂネーション云つたやうなことは児童の自然の心理でもありますけれども、幼兒の場合などで申しますならば、想像的力は實は弱いものであります。環境の關係に依りまして、その空想的なものが導かれたり抑へられたりするのであります。そこで都會の生活を見ますと、角度の正しい建築、がつちりした壁、實に餘りにリアリズムでありますと、そこに何等の想像を伸びやかに化成させるようなものが都會にはないのです。田舎に行きますならば、原を通つて居ります路を見ましても、何處まで續く路かといふ想像が起ります。すつゝ山が裾を引いて居りますと、その裾野のすつゝ滑つて行く所、何處までなだらかに行くか。その裾野の上る所、何處まで山の高さが奥深く行くかといふことが、直ぐ想像に依つて起るのでありますと、東京の生活のように、總てがきちんと規則正しく出来て居る所では、折角想像が出來ましても、時々それを止められてしまふのであります。かういふ子供を幼稚園に入れました時に、その幼稚園は空想を豊かにさせるところの出来る機會を與へてやりたいと思ふのであります。

その幼稚園に於て空想を化成さします問題は、主としてお話をありますが、このお話が私の考へる所では、近來、お話を持つて居ります外の意味が強調されて来まして、お話をいふものの本質であります空想性といふものが餘りに軽く見られて居るのではないかといふことを色々感ずる。昔はお話をいふことに就いて教育的價値といふものは考へられてゐなかつたものであらうと思ふ。お婆さんが孫などに話をして居りました時には教育的價値なき考へたことはなかつた。たゞお婆さん自身の空想に入りまして、たゞ空想の愉快を味はつて居るといふやうなことで済んでしまふ。そこで空想からずつと傳はつて行つたものがお話をあつたのでありますと、近來はお話を利用して情操を養ひたいとか、觀念を養ひたいとか色々なことが入つて來ましたから、一番肝心の空想性といふものが何處かに行つてしまつて居るのではないかも恐れるので

あります。その空想性が何處かに行つてしまつて居ります證據には、近來の人が、所謂お伽噺を申しても宜しいが、話の中にある空想性に就いて實に神經質に心配し出したのであります。例へば桃太郎の話をするにしましても、川から桃が流れて來た、それは本當なのだらうかといふやうなことを直ぐ考へて來ます。私はこの夏色々な處を旅行して居りまして、近來續に觸つてたまらぬこゝが一つある。それは色々な處で桃太郎の故郷を探して居ることであります。私が知つて居るだけでもかなり澤山あります。先生は子供のこゝに御興味がありませうから、桃太郎の故郷に連れて行つてくれる人があります。こゝの處で猿に遇ひました。話では遠方のやうになつて居りますけれども森の處に鬼が居りました。いやそれは嘘であります。四國のが本當でござりますとか、そこに色々の人が行きまして、これが本當である、桃太郎誕生の地なぞゝ云つて棒を立てたりして居るが、これは桃太郎といふものゝ傳説を心理學的に調べようといふことは、暇があるならしても宜いかも知れませんが、これは子供が桃太郎の話を聞いて居る時に味はつて居る空想性といふものが軽くなつてしまつて、空想に止まり得ないで、本當かどうかといふ所まで大變餘計な空想をして居る結果であると思ふのであります。浦島太郎が龜に乗つて龍宮に入つて行つた、そんなことを子供に云つて宜いでせうか、えらく心配してゐらつしやる人がある。そんなことを云ひましたならば、物理の法則に反しやしないか(笑聲)。子供が龜に乗つて海に入つたらどうしませうか、龍宮といふものは果してあるかないかといふこゝまで云ふのでありますが、これは私は想像性といふものに就いての考が非常に薄弱になつた結果であると思ふのであります。寧ろ幼稚園低學年に於ては空想は空想の儘で話したらしいと思ふ。それには先生が思ひ切つてその空想性の中に生きてるなくてはならぬこゝは勿論であります。話しながら、本當か嘘か知りませんけれども(笑聲)、といふやうなことを云つたり、さういふ風を半分しながら云つたりする話のしかたであつたのでは、決して子供の想像性を養ひ得るものではないのである。

私はあの窮屈な苦しい生活の中に入つて居ります子供に、せめて幼稚園の中に居ります時だけでも、思ふ存分のことわらせてたいといふ氣持をもつて居るが、或はそれだけで增長しましたならば、子供の發達の上に色々弊害もあるかも知れませんけれども、都會の窮屈な生活を救ふたいふためには、そこに一つの重點を置きたいと思ふのであります。そこで先生は良いお話をしようとか、そのお話の中にどういふ教育的價値があるかといふことを餘り御心配にならないで、子供と共にされ位イマヂネーションを擴げられるかといふ所に心を置いても宜いのであらうと思ふ。

この遊戲ごお話ごいふものは非常に大切なものとして取扱はれて居るに拘らず、それが私共の見ます所では、今日は全く反対の方向に進んで居るやうな傾向を恐れまして、少しく申上げて見た次第であります。

農繁期託児所の經營

朝 原 梅 一

一 緒 言

最近兒童保護の施設中、この農繁期託児所位急速な普及發達を見たものは他に類例がない。云ふてよい、けれどもその研究としてこれ云ふまつたものは發表されて居ない、僅に小バンフレットとして發刊されて居るにすぎない、それであるからこの事業を組織的に研究して見るに相當面白ものが出来るであらうし、また農業を以て大本とする我が國に於てのみよく發達すべき事業であるかも知れない、これまで多くの兒童保護事業は外國から輸入されたものが多い様であったが、この農繁期託児所だけは日本特有の產物であると考へられる。

本事業は名稱の表して居るが如く農繁期の託児所であるから農村に於て之が起つたものである。我が東京府の如きは東京市に云ふ大都市を有し、農村は大都市生活の權威に壓倒されて居る狀態であつて、これまで幾度か農繁期託児所の經營を主張したが知れなかつたが總てが水泡に歸して終ふた。偶々昭和八年度から東京府の指示に依つて財團法人東京府社會事業協會が昭和八年度から府下に五箇所之を施行して見たのであるが、昭和九年度に十八箇所の設置を見るに到つた。これをやつて見るに農村の人達の喜ぶ事業であることが知られた。

云ふまでもなく農繁期託児所は農家の最も多忙な季節に短期間臨時託児所を開いて幼児を預りこれに依つて等閑視され居る幼児を安全に保護し、且つその母及其他の家人をして後顧の憂なく勞働に從事せしめ、これに依つて勞働の能率を

高めしめるにあるのである。

こうした農繁期託児所を經營して見るに、家庭の人達は安心して勞働に從事することが出來、不規則に食べて居た間食の習慣は改められる、清潔の習慣は養はれる、偶然の危害、疾病は防止される、幼ない幼兒同志が仲のよい好い友達になる、ある幼兒は四月の新入學期が待ち遠しい位に小學校に行きたくなる、云ふ様に種々なる效果のあることが認められたのである。それで日本全國で最も遅れて設けられた東京府下の農繁期託児所も今にして思へば謠言に云ふ『食はずぎらひ』であつた云ふことが出来る。

一 農繁期託児所の起源

本事業は明治二十三年鳥取縣氣高郡美穂村下味野に寛雄平云ふ人が開始したのが初めであつて、此美穂村の人達は遠耕といつて、十町も二十町も遠方に耕作に行くのであつて、秋の忙しい時には乳呑児はそれを連れて行くが、學校に行かない幼兒はこれを放任して置くのであつた。それであるから幼兒達は喧嘩をする、怪我をする、泥湖に落ち込む、監督者がないから無暗に水を飲み、無暗に飯を食べる。こうしたことで種々な無祥事を招く幼兒が多いので、これを可愛想に思ひ、寛雄平氏が種々に考へた末自分の持家であつて、青年團の夜學校に貸してある家が、幸に畫はあいて居るので、自ら幼兒を集めて世話ををして見たが、さうも男の手では毎日やりきれないから、ふと思ひ就いて庵寺の尼さんに保母として働きもらふことにしたのであつて、尼さんも農家の多忙な時には法事も少ないので、雙方好都會であらう云ふのであつた。こうして寛雄平氏は幼兒を愛するの至情から、夙に農繁期の託児所を經營したのであつた。これが數年間繰り返された様であるが何年間經營されたか明ではないが農繁期託児所經營の先驅者である云へやう。

それが暫く中斷されたが大正五年には三重縣三重郡神前村に洗心保育園が設けられた。この保育園は當地の眞教寺住

職、志村量範師が個人で經營して居るもので、毎年一回五六月の農繁期に入るご坊守一人を保母として、一般農家の五歳以上の幼児を保育して繰り返しつゝ現在まで之を繼續して來たのであつた。大正九年には石川縣能美郡國府村河田託兒所、大正十年には滋賀縣粟田郡瀬田町に萱野託兒所、愛媛縣溫泉郡湯山村農繁託兒所等が開始された。

その後逐年増加して大正十五年には百三十八箇所に増加し、昭和年間に入つて急激なる發展を示し、昭和五年には一千五百十九箇所を數ふるに至つた。更に昭和八年度には六千百五十餘箇所の設置を見る状況にて、如何にこうした施設が農村の人達に歡迎されつゝあるかと云ふことを知ることが出来る。

三 農繁期託兒所の經營者

この様に現在がくも多數の農繁期託兒所は誰人に依つて經營されて居るかを見るに昭和八年度に開始された五千七百四十五箇所に就て財團法人中央社會事業協會で調査した所に依る、市營十一箇所、町營百六十八箇所、村營六百八十四箇所、小計八百六十三箇所で、各種の團體經營は三千五百七十五箇所、個人經營一千三百七箇所で團體及個人の經營小計四千八百八十二箇所、公私合計五千七百四十五箇所であつて如何に團體及個人が農村のために奉仕して居るかを知ることが出来る。更にこの最も多數を占めて居る團體中にはざんなものがあるが、これに就いてはこの五千七百四十五箇所の調査では知ることは出来る記録がないが、昭和五年度内務省社會局の調査、二千六十一箇所のに依る、私營の團體中には、(1)婦人會、(2)主婦の會、(3)處女會、(4)寺院、(5)教會、(6)補習學校有志、(7)小學校關係有志、(8)町村教育會、(9)私設社會事業團體等である。こゝに公營私營の可否を論ずる必要はないが町村當局の了解を得て協力して經營することが最も效果がある。

そこでかかる農繁期託兒所の保育に當る保母は如何なる人達なるかと云ふと、少しは臨時に雇ひ入れられた幼稚園保

姆、尋常小學校の女教師、多くは婦人會々員、女子青年團役員、寺院住職夫人、神職夫人、地方資產家夫人等であつて、女子青年團の團員の如きは保母として働く餘裕のないものが多いのであるから、こうした保母なるには大きな犠牲を拂はなければならぬ。それでこの保母を得る云ふことが相當に骨の折れることであることを知るべきで、それで現在の状況は所々に農繁期託児所保母の講習會を開いて、短い時間に保育方法の概略を受け農繁期託児所の思想の普及を計り保母となる志望者が有閑的な家庭から多く出現することを奨励して居るのである。

次に經營の期間はさうか云ふ、昭和五年度内務省社會局の調査に依る、三千百九箇所の期間に就いて之を見る、一週間以内のものも六百五十五箇所、一週間乃至二週間以内のもの一千二百二十六箇所、二週間乃至三週間以内のもの五百三十箇所、三週間以上一箇月以内のもの四百十二箇所、一箇月乃至二箇月以内のもの百六十二箇所、二箇月以上三箇月以内のもの二十四箇所、其他四箇月乃至十箇月のもの三十一箇所であつて、一週間以上二週間以内のもの最も多數を占めて居る状況であつて、農繁期託児所の特色としては最も多忙の期間二三週間を經營することが多い様である。

次に開設の場所として如何なる建物が使用されて居るか云ふ、昭和五年度の内務省社會局の調査に依る、寺院が千十四箇所、小學校七百四十六箇所、個人の私宅其他が六百五十八箇所、特に新に建築されたるもの五箇所、場所不詳九十六箇所、合計二千五百十九箇所であつてこの方面に寺院が如何に活動して居るかを知ることが出来る。

次にその経費は如何にして得たか云ふ、多くは經營者の負擔及篤志家の寄附金、市町村の補助金等である。これに要した金額は、一箇所分平均七拾五圓四拾五錢である。實はその期間が一週間乃至十箇月のものもあるから厳密に知ることは出来ない。これを知るために各一日宛の費用を算出して初めて確實に知り得るので確實な参考資料ではない。

次に保護者から保育料は徵收すべきか云ふ、その意見は區々であつて一定して居ない。それでおやつ代として

一日三錢乃至五錢を徵收する所もあり、またこれを徵收する爲に幼児の出席が非常に減少して来るから徵收しない云ふ説も相當有力である、云ふのは農村では一日二三錢でも現金を支出する云ふことは相當苦痛を感じて居る者もあるからで、この點を考慮する云ふ辨當に代る晝食の費用も、おやつの代金も出来るなら現金でなしに、農家で作つた現物を持参してこれを利用する云ふことが農村の實状に即した方法であると思はれる。

次に規模の大小は経費を決定することになる。経費の點から云ふと一箇所に多數幼児を集める爲には大規模なものが好いが、幼ない者が自分で歩いて行く農繁期託児所としては、部落を單位として小規模なものが多く作られるので、十七八人を限度として家庭的に保育する云ふことが理想である様に思はれる。

四 農繁期託児所の設備

農繁期託児所の設備として考へなければならぬものは建物、備品、遊園等であるが、これが臨時的な施設であるから出来る限り経費が安價で經營が出来る様に工夫しなくてはならぬ。先づ建物は寺院、小學校、個人の私宅等が利用が出来ればこれを借用することが何よりも好いことである。それを幼児達がその様に騒いでも破損する虞のない様に疊及建具等を取りはづして別途に保管して、唯午睡室、安眠室等は疊敷の別室として使用する様にすれば結構である。また適當な建物がなければ田舎にあり得る森の下蔭などを遊場として雨天及日光直射の際木蔭に入る云ふ納屋に入る等に力めて、多くの時間は戸外に於て遊ぶ云ふ方法を取る様にすれば室内を使用する時間は短かくてすむことになるのである。

次に備品としてはこの種の保育事業にも樂器が必要であるから出来るならベビー・オルガンでも備へつけられる構造である。これもなければ場合に依つては手拍子で唱歌を歌はせても好い。また此の樂器を使ひる同時にこれに必要なものは樂譜である。これは手拍子で歌ふにも、樂器を使用するにも必要であるから、だれでも歌ふことの出来る様に解り好い

ものを選んで謄寫版摺りにして各方面に配つて使用させるも好いと思ふ。食器は是非なければならぬが其他に玩具、繪本等もあればこの上はない。またこの外に小旗、綱引用の綱、なごもあれば次から次へ遊びを變化さして行くことが出来るから必要である。また夏季の託児所になるミ蚊帳が必要である。木蔭で眠らせたり、隅の方で眠らすのに必要である。好く子供の眠つて居る時に蚊がさすミか、蠅が顔にたかつて居るミなどもあるがこれは實に可愛そうである。

それから簡単な遊園の作り方であるが、これは子供を自活的に遊ばせる爲になればならぬ設備であるが、これを都會の公園や幼稚園の設備の様にすれば非常に澤山な金がかかるから簡単に丈夫なものを作るが好い、滑臺の如きは小高い丘を利用して溝を掘つてその底に板を入れ、杉丸太一本を両手すりとするミか竹の節を取つたものを丸太の代りにするとかして簡単に作ることが出来るがその傾斜は、高さ六尺に九尺の滑道にするのである。ブランコは立木の枝を利用して綱をさげて作ることも好い。唯垂れ綱が長くては危険である。幼児用ミとしてはブランコに立乗りをして上に手を延してそ上の三尺位あります位な長さが好いミ云はれて居るから垂れ綱は六尺か六尺五寸位ものが適當である。

また金棒の代用として竹の節をこつたものを二本の立木または柱にくりつけたものであるがこれも幼児が腹部にあて金棒を使用する様に使ふることの出来るこれも面白いものである。砂場は川が近くにあれば土地に穴を掘つて簡単に作るもの好い。これが管理方法は砂に少し水分を與へて砂を團子に作ることの出来る様にしてやることが必要である。また砂の代りに土を掘りかへして相撲場を作ることか、或は丸木を横倒しにして固定圓木に使用することか云ふ様に農家の木材を破損しないで色々に工夫して遊び場を作ることも出来るのである。尙ほ運動場を作るには幼児達が怪我をしない様に運動場ミする土地を好く掘りかへしてさげや硝子のかけら其他で幼児が素足で歩いても何等差支のない様に土地を整理してやることである。

最後に幼児を管理する必要から運動場として遊ぶべき土地の他の部分を限るために境界を設けることが必要である。これも立派なものを作る非常に多くの費用を要するから、唯二間程隔てゝ杭を打ち、その杭に幼児がまたぐことの出来ない程度の繩を張ることである。若しも必要があればもぐるところの出来ない様に三段位に三筋張つても好いのである。それから繩のない場合には山から葛を取つて来てこれを張つても好いのである。かく境界を定めてこれから外に出て遊んではいけないことを定めて置くことである。そして種々な遊具はその繩張の内にばらりと幼児が散つて遊ぶところの出来る様に設けることである。

此の様に農繁期託児所などで出来るだけ多くの遊具を設けたり、玩具を備へたりするのは、幼児が次から次に變化ある遊びを自由に爲して長い時の過ぎのを忘れて面白く遊び得るからである。若しも玩具や遊具が少ないところ幼児達がお互に人間關係にのみ交渉をもちつゝ遊ばなければならぬからである。時としては保姆が多くの幼児を遊ばせてやらなければならぬ。そうなると保姆は非常に心を用ひて疲労を増すのであるが、遊具や玩具を使用して幼児が自活的に遊ぶところが出来るところ保姆はこれを監督して居りさへすればよいのである、此點をよく考へて經營者が相當な設備をしなければならぬ。

最後に玩具でもなく遊具でもないもので必要な設備は便所である。常設の幼稚園や託児所に於ても洗面所、便所、下駄箱等は實に研究を要する設備であつて、洗面所が不完全であるところトロホーム其他の傳染病の媒介をするところになる。便所が不完全であるところ不潔になつたり、怪我をしたりする。下駄箱が不完全であるところ覆物を窃めたり、紛失したり、また幼児が歸宅の際に先を争ふて不快な氣分を懷き、この日の保育の効果を喪失して終ふところがある。農繁期託児所に於ても特に便所の如きは怪我しない様に作ることが必要であつてこれは板製のアンコを作り小さい穴から深い穴に糞を落す様に作ることのが好いと思ふ。糞が深く落ちるところには蟻が行かない様であるから好いと思はれる。

五 農繁期託児所の保育

農繁期託児所の保育方法に就いて考へるに、保姆は幼児より前に出勤して幼児の来るのを喜び迎へる心掛けでなければならぬ。幼児が来るにその幼児の顔色を見る事である。幼児の顔面には快不快、或は疾病等を物語る表情が現れる。それを見てその日の取扱ひ方を考へることである。そして別に疑問の起らぬ普通の表情ならこれを自由遊びの仲間に送り、身體的に異常がある様に認められるなら熱を計る事か、腹部に觸れて腹のはり方、便通の有無などを注意する事か、睡眠の状態に留意する事か、醫師に診断して貰ふ事か、種々の方法を講じなければならぬ。幼児が相當集つた處で一同にお早の挨拶をかわし、唱歌を歌ふもよし、幼児の生活に叶ふた様な面白い有益なお話を十分間位する、それから唱歌、遊戯等を幼児が疲勞を感じない程度に行ふも好いと思はれる。また静に室内に入つて手技をやらせたりするも好いのである。それから出来るなら戸外に出て太陽に觸れ乍ら自由遊びをする様に導くべきである、この自由遊び中に於ても自分の好むものを思ふままに作らせる事も必要である。午前の十二時前になるに自由遊びも切をつけて、お手を洗ひ、晝食を攝る準備にからなければならぬ、この晝食も託児の家庭から弁當を持参させるものもあるが、時によるに、託児所共同して晝食を作つて一所に楽しく食べさせることもある。そうなれば非常に多忙を極める事があるるのである。こうした多忙な時に幼児中に多少でも手傳をする事の出来る子供があれば、それ等に手傳はせる事も結構である。晝食の時には當番を定めて準備をさせて他の幼児が席につければ出来る丈早く食事をくる事の出来る様にしてやりたい。幼児はこれまで自宅で午前中に幾度か間食を頂いたものが急にその度数を少なくして空腹を忘れて遊戯などに夢中になつて居たのが食事を見れば急に空腹を感じる様な事もある。それなのに食事を前にして長い行事をやるなどは考へるものである。

晝食が終ればまた自由遊びで自活的に遊ばせるのである。相當遊んだ頃を見はからつてお話ををしてやるに喜ぶ。このお

話には出来るなら郷土教育を應用して、村にあつた傳説とか、その村から出た偉人とか、軍人で戦死した人の傳記とか、昔時代のお寺の和尚の逸話とか、出来るだけ村人の生活に關係のある様な話材を選ぶことが出来る誠に結構である。次にそのお話を關係した様な、またはこれに類似した様な唱歌が用ひられるなら結構だがさもなければ幼児の日常生活に觸れて居る事件や物體を材料にした唱歌を使用することが出来るらしいと思ふ。彼の『一つ飛んでは両手をついて、何か考へ、考へ乍らかへる』まで歸つて行くか』の様な歌は幼児の生活にも理解が出来ると思ふ。また燕の歌とか、こんびの歌とか、または樹の枝につるされたぶらんこの歌で、『ぶらんこゆれば花が散る』などに幼児の生活に觸れるこゝの出來る保育の材料を取り入れたいものである。そして唱歌を歌ふにしても樂器のないこゝがあるかも知れないからその時には手拍子を打つて歌ふ様に導くこゝも必要である。こうしてお話を聞かせ、唱歌を歌はせ、また簡単な遊戯をさせて見ることも好い。その折、よく揃へやうなきゝ成人の考へ本位で力を入れて幼児を躊躇ることは好くないこゝである。右手を擧げる時に左を擧げてもそれをやかましく云はないで極めて自由にやらせたいものである。

この様な臨時託児所で、しかも保育時間が非常に長いから、この長い時間に退屈するこゝのない様に種々變化を與へてやらなければならぬ、従つて歌つたり、踊つたりした後には、必ず何かを作りたがる、そこで物を作製せるこゝも非常に宜しいが、その製作にはそれを何かに使用する目的があれば何よりも結構である。例へて云ふと、『京の五條の橋の上』の遊戯を演劇化して樂しませやうとするこゝに辨慶の鎧や甲を作ることを考へて、その色付が自然と繪をかくこゝの練習になる様にするとか、その作業が何か目的であつて作ることになる、それが生きてくるこゝになる。こうなるとクレヨンの使用とか、剪の使ひ方とか云ふやうなこゝが自然と幼児の生活に變化を與へるこゝになる。これは唯一例であるが出来るならもつとも簡単なものでその日の中に物が出来上る様なものを選ぶことは何よりも好いことと思ふ。昨日は自然物を

利用してあゝした物を作つたが面白かつた、今日も何か作らう考へる様にしたいものである。

かくして三時頃になればおやつの時間が来るからお手を洗はせて、おやつを頂く準備をすることが必要である。このおやつの作り方は經營の項に述べた様に、農村では現金を支出する事が困難であるから、出来得る限り現物を使用してお菓子などを多く貰ふて與へないで、農家で得られる現物を以ておやつを作つて與へる様にする事である。例へば「お豆」をいつて與へる事かまた「お芋」をふかして與へる事か、其他「栗」、「山桃」其の他の果物など的新鮮なものとか、穀類で工夫して「おはぎ」「お園子」其他を作つて與へる様な事であるが、保母の手不足で困る様な場合には午後は小學校から歸つて来る兒童もあるから、これに手傳つて貰ふ事も好いと思ふ。こうした方法は毎日出来なければ三日一度でも好い。要是農村で出來た作物を工夫しておやつを作つて與へる方法を考へることである。

おやつをすませる事、午後の三時半頃になる。幼兒達も夕方が來て、淋しさを覺へる頃になるから保母は幼兒等が、こうした氣分を起さぬ様に、綱引きをやらせたり、相撲を取らせたり、共同遊戯をやらせたりして、夕方には幼兒達が「今日も面白かつた」と云ふ感じを懐く様に保育したいものである。

六 結 尾

以上の外幼兒の事故に對する應急手當、日記の整理、困る幼兒の取扱方、等述べねばならぬ事があるがこゝにはこれを省略して、唯農繁期託児所經營及保育の概略を述べることに留めて置く。

童話の教育的價値

川村女學院小學部主事 田 中 兵 治

一

世には童話とよを仰嘸おののきを同視する者もあり、又全く前者まへ後者ごは別個のものであるまへ論する者もある。又或る者は児童向のお話こども即ち児童が話したり、聽いたりする特有のお話の總てを普通一般的のお話ふつう對照して漠然ぼくぜん考へてゐる者もあるやうである。然し私は童話とよは児童の心靈の糧くわとなるお話とよ即ち、児童の德性、知力、情操等を啓養する力を有し、以て児童の心靈に完美な、全一的な發達を助長する物語を意味するものまへ思考したいのである。故に、妖女、巨人、魔物等超人間的性情能力を備へた超自然的靈物を中心とした興趣豊富な教訓の廣汎なお仰嘸おののも、生物若くは無生物を假用して、豫めねらつてゐるところの道徳的教訓を児童の心に滲透させようとする寓話の如きのも、又滑稽諧謔可笑味によつて無邪氣な、ゆつたりした氣分を誘起させる所謂興味を中心とした滑稽譚笑話の如きもの過去に於て實際に存したる人物、若くは實際に起つた事象を中心とした歴史譚や、一定の場所、時代、人物等が確定した地方的なロマンチックな物語である傳說及び神話の如きものや、自然界の事象及び現象を子供向の物語風に説明した自然界の物語、其の他、現實世界に日常存在し、若くは發生した事實を中心として、児童の知力、徳性若くは情緒を啓發する子供向の物語の總てを廣義に童話とよを解釋したいのである。隨つて此處に論ずる童話の教育的價値も此の廣義の範圍に於いて考察したものまへ御承知置きを願ひたいのである。

主知主義、偏知主義教育の反動として、我が國の教育界一般の傾向は、情操の陶冶、特に情操の教育が力説され、所謂藝術教育が高調されるやうになつた。之は我等兒童教育に從事する者の齊しく贊意を表するところであると共に、大いに研究を進め、實際上に效果あらしめるやう努力せねばならないことを共に一面、所謂世知辛い、乾燥無味な、唯生きればよいこ日夜齧齧し、物質的慾望に驅られ、淺獥しい生活の奴隸の如く、それ自身全く盲目となり、吾人人間の獨特の價値であり、誇りである精神生活、内的生活を忘れ、人生の豊潤な使命を棄て、顧みず、恬として怪しまざるものゝ多きを見て、癡かに歎息せざるを得ないこが多いのである。低級なる慾望満足、自己本位な利己主義。唯目前の愛に溺れて高遠な理想への邁進を忘れ、見るゝ愛兒を奈落に墮落せしめつゝあるのである。私は之が救濟の根本策は完美全一な心、圓滿なる德性、知識、情操の啓培にあることを信ずるのである。此の意味に於ても童話の教育的價値の尊ぶべき力あるを思ふものである。

三

兒童は童話を愛好すること極めて切なるものがあることは周知のことである。何故に斯くも愛好渴望するのであらうか。私は先づ兒童の心理生活と微妙なる調和關係あることを見るのである。兒童は想像と活動と自由を愛好する。又動物を好み、探求性に富んでゐる。彼等の日常生活の實際を見ても、あらゆる事物現象に對する好奇と穿鑿とは大したものである。童話の内容は是等の諸要素をその生命として成立してゐる。即ち兒童の喜ぶもの、欲求するものが、盡く童話の内容となつてゐる。兒童の自由奔放な想像、潑測たる活動や探求性、好奇心の満足等は童話の世界に於て無條件に、無制限に容易に充分に提供され遂行出来るのである。そこに無上の興味を感じるのである。「童話の精髓は、精靈的世界に於け

る自然生活である。そこには普通の子供が普通ならぬ環境に活動し、若くは普通ならぬ子供が、自然な環境のうちに活動する。」ミ、エフ、クリーディ氏が言つたが、實際、童話の内容に於て、赤い帽子、白い靴、犬、猫、馬等極めて親密なもの、山、川、舟、喜び、悲しみ等親しみ深いもの、之に反した異常なもの魔物、巨人、小人、妖女等未知な事物との微妙な錯綜結合が大きな魅力を表はして児童の想像を満足させ、好奇心を刺戟し、大きな喜悦と興趣を感ぜしめるのである。そこに又、無邪氣な、明るい可笑味や、滑稽な満足を與へ、愉悦を味はしめる。童話の教育的價値の第一として興味と愉悦を與へ以つて彼等の心を調和的にし、のびやかに明るくし、健やかにするこれを擧げたいのである。

次に童話は豊潤な情緒を啓養し、想像力を發展せしめるこれを擧げたいと思ふ。童話はさもなくの事件と境遇との錯綜であり、連續展開である。惡辣な狼に食はれた七疋の小山羊が、慈愛籠つた母山羊に救ひ出され一疋一疋無事に狼の腹中から飛び出て来る時の喜ばしさ。深山に遁れた美しいお姫様が、七人の小人の家で色々介抱を受けたが、遂に繼母の術策に陥つて斃れ、泣く死骸を硝子の棺へ納めるといふ悲しい哀れな「雪姫」の話。親指ほどの大きさしかないが大へん利口な男の児が盜賊を驚かしたり、牛の腹中に這入つたりして、しまひに兩親の膝下に無事歸つて来るといふ笑ふべき面白い「指男」の話等其の他恐るべきもの、怒るべきもの、愛すべきもの、尊ぶべきもの等ありてあらゆる情緒的葛藤の一大渦巻をなして起伏してゐる點は、確かに児童の情操を陶冶する啓養所ではないか。又豊富な自由な想像的要素を以つて児童の思を無限の自由境、所謂彼等の第一の世界に悠遊せしめるのである。想像は實に子供の創作的活動即ち表現や造形と密接な關係があり、想像なき所藝術なしといふ位藝術の創作愛用に缺くべからざるものであることを思へば、童話の教育的價値の大なることを切實に覺ゆるのである。

巨人や小人、魔女や野獸、善心ある妖魔、甲冑燐爛たる勇士等超人間的な、超經驗的な人物が出没して、低俗卑小な感

性や悟性を没却した放奔自由な行動を恣にせしめ、現實世界の有限と經驗との束縛から解放せしめ以つて彼等の想像力を無限に發達させる。例へば有名なグリム童話集中の「赤帽子」の如き、赤い帽子のよく似合ふ可愛い女の児が、森を通りて病氣のおばあさんをお見舞する途中で狼に出會ふ。奸智に長けた狼は女の児をだまして、道草を食はせて置き、先廻りして、おばあさんを食べ、後から來た女の児をも食べてしまつて、ぐつすり寝込んだ處を獵師に殺される話。怖ろしい魔女が出て來るのでは一人の兄妹が繼母のために淋しい山中に棄てられ、魔法で建てたお菓子の家へ、おびき寄せられて魔女の手中に陥り兄が既に閉ぢ込められて食べられてしまふところを、妹が隙を覗つて魔女をパン焼き竈へ突き入れて殺し、竈を澤山三つて、無事父の所へ歸るといふ「ヘンゼルとグレーデル」。或は、王女が豫言通りに十五の歳に指を鉤錘でさすと、王女は更なり、その兩親、廷臣、家畜や蠅に至るまで百年の長いねむりに陥るといふ「薔薇姫」や、「ホルレ夫人」で落した絲巻をこりに井戸に落ち込んだ少女が溺れるこ思ひの外、ふこ正氣にかへるこ、太陽が赤々こ輝いて、一面そこの中にはいろ／＼の綺麗な花が咲き亂れてゐたなご、アンデルセンの少女が穿くこ踊り狂ひ、穿いたまゝ足を切るこそれも踊り廻るこいふ「赤い靴」の話、なかへ這入るこ勝手に好きな處へ飛んで行けるこいふ「飛ぶ鞄」の話など「アラビヤ夜話」の空を走る馬の話及び多くの冒險談。ハウフの「幽靈船」「ファトメ」等は兒童を有頂天にならしめるものである。第三は童話は兒童の知力と觀察力を啓發することである。童話は、一個の藝術として、事物現象を極めてよく具象的感覺的に表現するから、實際の世界でほんやりこ眺めてゐたものを、童話の世界から刺戟影響を受けて一種の親しみを以つて明確に觀察し、確實な知識を收得するがある。イソップの話を知つた兒童が、狐と犬の賢愚を論じ、力の強弱を議論したり、鳩と鳥に一種の親しみを以つて話しかけたりしてゐる兒童をよく見るこがあるであらう。

次に道德感を深めること。之は一部の者をして童話の有する本質的要素中最大重要なもののこして尊ばれる價値であ

る。教訓的物語の多くは實に此處に中心點、その力點を置かれたものである。多くの童話中に、よく家族的關係や社會的關係が描き出され、その中に善惡兩様の極めて多種複雜な行爲動作が起伏して生滅してゐる。然しその間に嚴たる道徳律が行はれて、その行爲はその價値に従つて正當に判断され、正しき應報を受けてゐる。「童話のうちに、最も怖るべき紛糾が含まれてゐることもあるが、しかし何時でも善惡の宿命は、惡しきものゝ没落と共に遊戯三昧の中にめでたしくで解決せられてゐるものが多い」^ミ道破したことを聞いたことがあるが實際、童話は行爲の價値判断は曖昧ではない。猿蟹合戦や花咲爺に於ける善い爺さん^ミ悪い爺さんの所業等明瞭に勸善懲惡の趣旨がうかゞはれてゐるではないか。お話の途中で正善なもの^ミ邪惡なもの^ミの行爲價値が倒錯せられてゐることもあるが、それは一時的であつて、終局に至る^ミ一つの調和した完美な世界に復して、善者はよく報いられ、惡者は悪く報いられ、因果應報の理路整然^ミ示されてある。此の特質は兒童の道徳感を深化するに大きな力^ミなつてゐること思ふ。

其の他、美感の啓培、高尚なる美の感化も大なる童話の教育的價値である^ミ思ふ。最後に、童話は時間的、空間的に大きな自由な廣がりを持つてゐて、神話の或ものは、宇宙國土の創造、人類の創成を物語るものさへある。或る童話は、太古、上古、中世紀、現代、またあるものは未來に及んで語つてゐる。又世界に於ける多くの人種、動植物を物語り、無生物にまで廣汎に及び、地方的、國家的のものも多くある。こんな風で廣く人類全體の親愛感を養ふばかりでなく、動植物及び無生物に對する理解^ミ同情^ミを深め博大な愛に目覺めさせ、人生の部分的、偏倚的な固陋な表現でなく、圓滿博大な愛に生れた、全一的な人類生活を營ましむることを教へる偉大な價値ある^ミことを高唱して擱筆する。

英國文部省の幼兒保育指針

— 英國に於ける保育の現狀 —

白根孝之

—はじめに

英國に於ける幼兒の保育が如何なる経過を經て今日にいたつたかに就いては、昨年の本誌十一月號に於て簡単に紹介したが、然らば現在では英國の保育は如何なる内容をもつものであるかといふ點に就いて、英國文部省が最近（一九一九年）發行した「教師の爲めの指針書」（“Handbook of Suggestions for Teachers.” by Board of Education in England）によつて、その概要を窺つて見たい。

始めに、三の點に就いて注意して置く必要がある。既に昨年十一月の本誌に於ても述べたやうに、英國の保育界——のみならず教育の全系統には、一つの階級的な流れがあつて、保育界に就いて言へば、一方に於ては一八七〇年〔イギリス・フーメル協會〕の設立及びこれに伴つて創設された所謂「幼稚園」^{キンダーガルテン}が専ら上流階級の子女を收容して發達して來たのに對して、他方では一般庶民階級のための初等教育機關たる「公立小學校」^{パブリックエレメンタリー・スクール}に附隨して、特に一九一八年の教育改革以來異常な發達を來した「保育學校」なるものがある。後者には「ナースリー・スクール」^{ナースリー・クラス}と呼ばれて獨立の設備をもつもの、「保育級」^{ナースリーステップ}と呼ばれて小學校に附屬した小規模のものがあるが、孰れも満三歳乃至五歳、即ち義務教育以前の幼兒

を收容して之を保育する。この保育系統は貴族、上流社會の子女の爲めの所謂「幼稚園」に比して發達が後れ、その内容、施設共に後者を範いし、之に導かれて今日にいたつたものであるが、數に於てはもこより之が比ではない。さればイギリスの教育界は、一九一八年の改革以來、朝野を擧げてこの保育機關の完成、充實に力めて來たこことは先號に於て述べた通りである。こゝに據つた文部省の「指針書」は、今日英國に於て保育機關の大部分を占めるこの「保育學校」又は「保育級」の仕事に携る人の爲めの「指針」である。

第二に、英國では就學年齢が五歳を定められ、義務教育年限は十四歳乃至十五歳に及び、この期間を大體に於て、五歳乃至七若しくは八歳の初等級、七・八乃至十一・二歳の中等級、十一・二歳乃至十四・五歳の高等級の三期に分ち、中等級からは中等學校へも連絡出来るこことになつてゐる。故にこの紹介は我國の制度では「保育」と呼ばるべき時期を含むこゝの「初等級」にも及ばねばならない。

第三に注意すべきは、イギリスに於ては我國の文部省の規定する保育令或は小學校令の如き強制力のある統一的な規程ではなく、文部當局は極めて大綱を示すのみで、詳細の具體的事項にわたつては各學校に最大限度の自由を認めてゐるといふこことである。従つてこの指針書ことも、その示すこゝろは結局「指針」たるに止まり、我國の「要目」の如き類のものではない。現にこの書の序文に次のやうに言つてある。「この書物は結局指示たるに止まつて、教へらるべき教材又は採るべき方法に就いて、決して強制的な規程たんこするものではない。たゞ事に教育に從事する人々の参考となれば幸である」と思はれるやうな意見と體験を蒐めたものである。英國文部省が教育界に望む統一は、全ての教育者が自ら考へ自ら行ひ、各學校各地方の特殊の要求と事情とに適合すべく自己の全能力を發揮するといふ一事である。形式上の統一は、若し可能なりとしても、望ましいものではない。故にイギリス教育若しくは保育界の實情を知らうとなれば、個々の學校

についてその行つてゐるところを見る他ない。この文部省「指針書」は、全てのイギリスの保育機關の歩むべき目標、若しくは則るべき大綱を示したものにすぎない。

一 三歳—五歳までの保育級

既に述べた如く、イギリスでは三歳(若しくは二歳)から五歳までの就學前の幼児を保育するために、獨立の保育學校若しくは小學校附屬の保育級を設けるのが現在の一般的趨勢となつてゐる。この時期の保育に關して文部省の「指針書」は次のやうに言つてゐる。

「この時期の極めて幼少な兒童の訓育は、他の就學時期のそれに比して、幾多の點で異なる多くの問題を提出する。保育級の教師の主要な目的は、幼い生命の適正な發達を助けるために身體的・精神的・社會的に正しい環境を作つてやるにある。而してこれがどの程度にまで行はるべきかは、學校の設備によつて一樣ではないが、普通の保育學校では、一日の大部分にわたつて、健全な家庭に行はれる保育その儘を移すことが出来る筈である。」

これによつてイギリス保育學校の目的は、「幼児の健全な發達に資すべき身體的・精神的・社會的環境」を與へるにあり、「この環境」は「健全なる家庭」であることが知れる。

(1) 身體の保育

「この時期の教育者—保姆は、先づ第一に子供の身體的要求を満たすことを主要な仕事とせねばならない。この時期の學校生活は、家庭生活に屢々見られる境遇・環境上の缺陷を補正するものでなくてはならない。身體の訓練といふことは勿論大切ではあるが、この時期の幼児に云つては、身體の保護・配慮といふことが主たるべきである。身體の保護といふことには、清淨な空氣—出來れば陽光の下の自由な運動、規則的な睡眠・休息、望ましい身體上の習慣特に清潔の習

慣の養成等が含まれ、従つてそれ等の爲めの設備を必要とする。更に保育學校では大部分の幼兒は終日を送るが故に、食事の施設が大切である。最後に又醫療・診察についても保母は自ら或る程度の知識を持たねばならない。

身體の保護と離すことの出来ないのはその積極的な訓育である。幼兒の身體活動は自由にして碍げのないことが大切であるが、無目的であつてはならない。又個人遊戯と共に團體遊戯が大切である。そしてこの間に正しい呼吸・自由な四肢の運動及びコントロール・正しい姿勢の習慣が養はれねばならない。

幼兒の健康に亘つて最も大切なのは清らかな空氣と温い陽光である。故に運動場・花園・近隣の公園等に於ける戶外運動は勿論、小動物の飼育・草花の手入・小鳥の世話・自然の觀察等にあたつては、この點に十分の考慮が拂はれねばならない。

次には規則正しい睡眠と休憩の習慣を作ることが大切である。この習慣は幼兒に亘つては仲々養はれ難いものであり、それだけに保育者は自然の環境を整理してやるやうに心がけねばならない。但し空氣の流通を害してまで室内を暗くしてやる必要はないし、又騒音も大ていのことでは幼兒の安眠の妨げとはならない。たゞ快い寝臺又はハンモックを準備してやることが大切である。そしてそのしつらへ、後始末をさせることも亦忘れてはならない。この時間を定めた睡眠の他に、遊戯や運動の過度の緊張・疲労から救ふために臨機の休息・慰安・鎮靜が必要である。かなり行届いた幼兒學校でも、往々にしてこの點から生じる弊害があるものである。

規則的な睡眠にも劣らず大切なのは、身のまはりの清潔といふことである。このために大部分の保育學校は、幼兒を清潔にして學校に送るといふことを、家庭に對して一つの入學條件としてゐる。浴湯の設備があればこれに越したことはないが、手洗ひ・洗顔の施設でもよい。自ら顔・手・身體を清め、歯を磨き、髪に梳を入れ、用便を足すだけは、優しく指

導してその習慣をつけてやらねばならない。

食事も亦この上ない教育上の機會である。終日収容する保育學校の利點は、規則正しい時刻に、清潔で綺麗な状態の下に、適當な食事を與へられるこいふ點にあるのである。然し晝食だけを與へる級に於ても、食事前の準備、食事中の行儀・作法、食事後の取片附け等の間に、十分に教育上の效果を擧げることが出来るものである。

最後に保育期間に於ては、學校の醫療的機關と密切な連絡を保ち、むしろこれをその一部分とするこ事が絶対に必要である。この年齢の多くの子供を一ヶ所に集めて置くこいふことは、それだけであり勝ちな種々の傳染性小兒疾患の誘因となる。保育者たる者は、醫者にだけ頼らず、自らこの種傳染病の早期徵候を看取するだけの注意と用意を缺いてはならない。その他口を開けて呼吸したり鼻涙をためたり、横目を使つたり、手を嘗めたりする非衛生的な惡習は、この時期に於てつこめて矯正して置かねばならない。」

(2) 精神の保育

「然しざら、保育學校の目的は身體的顧慮にのみ存して、精神方面の訓育については一切意を用ひなくともいゝこいふでは勿論ない。學校はこの方面に對しても、この時期に特有な訓育を施さねばならない。

保育學校に於ける精神的陶冶の要諦は、小學校に入る前の正しい準備を與へるこいふ一點に盡きる。従つて一方では注意・興味・緊張・知ることに對する強い好奇心を培ひ、他方では不當の知識の填め込みによつて幼い心の芽を押しつぶすここのないやうに心がけることが大切である。三R(讀・書・算)の規則的な教授は保育學校の關するこころでない。保育學校で留意するのは、自然の流暢さで話し、正確に發育し、質問に對してはつきりこ答へ、不審や疑問は怯めず問ひ訊し、他人の話を迅速正確に理解し、自分の關心については自由に且つ適確に語り、簡単な獨唱合唱が出来るやうにしてやる等のこと

さがらである。音楽・唱歌は言語表現能力の養成に功があるし、他人の話に耳を傾けることは、發音・理解の點で大切である。優秀な保姆の手にかかるべきはにかみ屋の子供でも、進んで話すやうになるものである。保育學校は澤山の繪本を準備し、小動物、小鳥、草花の手入れや世話をさせる設備を必要とするが、これ等は幼児に十分の話題を提供する。

次に感覺器官・運動神經を發達させて全身心の圓満な伸長をはかることは、半ばは精神的陶冶の職分である。それには手工的遊戯が最も好適である。これ等の手工は唯むやみに行はれるのではなく、一定の目的を有つことが大切である。幼児の興味は一定の結果・意味・目的をもつ仕事でなければ、動かない。建設・創造・破壊・蒐集・協同等の意義のある手工作業であることを要するのは、この爲めに他ならない。幼兒時代に起る是等の衝動は正しく導かれ、發展せしめられねばならない。

運動器官と共に他の感覺機能の陶冶も忽せにされではならない。併しこゝに感性陶冶と稱するのは、色彩にしう音響にしう或は重量にしう、緻密・微妙な辨别能力を高めるといふ意味ではない。それ等は不斷に使用されねば忽ち失はれる性質のものである。要是感性を正常な機能に鍛へ磨くにある。視覺について言へば、色彩・形態・大きさ等に就いて微細な區別よりも大まかな識別能力を陶冶し、聽覺について言へば、他人の話や音に注意する習慣を養ひ、且つ調音に對する喜びの感情を喚び起すといふが如くである。

是等の陶冶は單にそれ直接の目的のためばかりでなく、自然に幼児の觀念を豊富ならしめ、環境に對する燭測たる關心を誘發し、又言語能力を高め、運動感覺の平衡のこれた發達を促すであらう。要之、保育期の精神陶冶は讀、書、算數の實質的知識を注入するのではなく、やがて就學時期に達した後之を充分に受容し得べき精神能力を準備するを目的とする形式陶冶たるべきである」。

(3) 社會性の陶冶

社會性を言つても精神能力の別のものではないが、「精神の保育」を中心として個人の知的方面に就いて述べたのに對して、こゝに社會性をいふのは德育の方面を指すものである。道德とは社會に於てのみ可能なものであるから。

「以上に述べた保育は個人的な場合、群團的又は社會的な場合があり、共に必要である。子供は一緒にゲームしたり、一つの玩具をもつて遊んだり、自分の興味を感じた話を皆に聞かしたり、得意な歌を皆の前で歌つたりすることを、好むことは、成人の想像も及ばない程である。その間に自己に必要な社會的感情が養はれる。それと同時に特別の德育的保育にも注意されねばならない。その第一歩は、自分のことは自分で行ふといふ習慣である。衣服の着脱・持品の整理整頓、身のまわりの清潔等は力めて自分自身で行はせるやうにせねばならない。その次は他人、學級全體のための奉仕である。教室・遊戲室の掃除はこの時代から當番を定めて行はせるがよい。併乍ら、協同・奉仕の精神はこの時代に於ては故らに重要視され強調される必要はない。遊具や繪本を共通に使用したり、唱歌や談話の席を同じうしたり、更には自分一人の責任に委ねられた植物園の一區割や小動物、小鳥の類を有つといふことは、幼児の心に學校、學級、共同生活に對する喜びを植ゑつけ、之を強める上に十分の力を及ぼすであらう。

保育學校の經營は明確且つ詳細に計劃された具案的なものたるを要することは勿論であるが、規則的外的にクラスの組別を定めるることは誤である。例へば年齢に拘泥してクラスを分つが如きである。異った年齢の子供が同一保育者の下に集まるることは、有害といふよりも寧ろ有益である。二歳の子供は勿論五歳の子供と一緒に遊戲や運動をするることは困難であらう。然しこれを傍観して喜ぶことは出来る。その間に於て年長の仲間から感化を受けることも少くないであらう。反対に又、年長の子供の側から云つても、彼等には自分達だけの遊びや仕事がありはしても、尚年少な仲間のより簡単な遊びや仕事に加はることも知つてゐるであらうし、その間に加つて助けたり喜ばせたりすることも出来る」。

III 幼年級

既に述べた如く、イギリスの義務教育は満五歳から始まり、七乃至八歳までを幼年級(Infants Stage)と呼ぶ。従つて満六乃至七歳から始まる我國の義務教育制から云へば、この間の初期もまさに保育期間に入るべきものである。

(1) 一般陶冶方針

「大都市の學校で就學兒童の全部若しくは大多數が既に保育學校で保育された場合には、彼等は小學校の學習生活に對する準備を與へられてゐる。それが又保育の使命でもある。然し今日の事情に於ては、斯くの如き地方は僅かでしかない。五歳になつて始めて學校生活に入る子供の數が今日のところでは多いのである。従つて小學校の幼年級は先づ子供達を徐々學校生活に慣れしめる必要がある。これはいへ既に家庭生活に於て或程度の準備は與へられてゐるところが出来る。又この見地から義務教育の開始期が五歳と定められてゐるのである。従つてこの過渡期的困難は一時的のものと見てよい。

活動に對する子供の自然の喜びは飽くまでも妨げられてはならない。併乍ら、この時代になれば、子供達自身の側から基本的な讀書算術の知識に對する興味が湧き出して來るものである。これ等の教科課程に對する喜びが生れ出る限り、これを制壓禁抑すべき理由は何處にも見出せない。一定の簡単な教科課程としての讀書算術の知識をこの時代から授け始めるのは、大陸の諸國にはないことで、イギリスの特徴とするところであるが、最近になつて教授方法並に教材の上に著しい改革が加へられたことは大陸の習慣に對して我國の制度を擁護する一つの有力な根據が出來たものと見ることは出来る。この種の教授を早く始めるところの効果に就いては尙問題があるかも知れないが、子供自身之を重荷とも思っていないのは、少くとも優れた學校に於ける事實である。

たゞ子供自身の生活と興味から出發するといふことが、孰れの場合に於ても原則たるべきである。數・大きさ・形・重さ等の概念も、子供の遊戯・手工・作業・その他の活動の間から自づて生れ出る問題から導くべきであり、讀方の教授もお話・會話・日常生活に基けるやうにせねばならない。

算術の教授にあたつて種々の器具を使用し、パズルとか競争とかの形式で交互に、若しくは増補的に教授するといふ方法は、最近になつて盛に使用されて來た。實際經驗を利用するといつても、その機會は偶然的であつて、具案的に行ふことは困難である。それに反して、特定の目的の下に計劃された器具を使用するには容易でもあり、且又これによつて次第に子供を健全な數の知識に導くことが出来る。同様に讀方の教授に方つても、聽覺・視覺・觸覺に訴へて徐々に教授を進めることが出来る。かうした案は、深く細かに考へて計劃されるなら、大きな效果を擧げることが出来る。然し子供の能力の發達するにつれて、かゝる手段にのみ訴へることが、却つて大きな障礙になる時期が起つて來るものである。教師はこの時期を見逃さないやうにせねばならない。

最近の教育理論に於ける大きな進歩は、「自由」を最高度で許認し、子供の個人的自由活動を尊重する點にある。所謂「個人的方法」が年長の兒童に施して有效なことは既に試験済みであるが、幼年級の子供に對してもこれを擴張しても成功した事例が多々ある。然しこの場合特に問題になるのは教師その人の能力である。殊に次の三點について注意することが大切である。第一に個人に自由活動を許すと言つても、全然子供の自由に放置しておくのでは勿論ない、幼年級の兒童でも、讀、書、數に於て自分だけで相當の活動が出來はするが、進歩發達はすべて新しい觀念を正しい瞬間に於て獲得することの謂である。而してそれにはこの正しい瞬間を察知してこれを授け時間と労力を節して本來の目的を達せしめる教師が絶対に必要である。第二に、全ての科目が「個人的方法」によつて扱はれるべきではなく、又きの科目にても常にこの方法に

のみよるのではない。第三には、各兒童の進歩の度合を知つて、常に全ての子供を接觸を保つておく必要上、教師は記録をさつて常に計劃と統制の下に之を指導する必要がある。要するに「個人的方法」と云つても、それは個人の自發活動を尊重して眞の知識を發展せしめるといふ教育上的一大原則を現はすものであつて、無統一・混亂・無秩序に放置し、人間の社會性を無視するの謂では決してない」。

(2) 教科課程

イギリスに於ては、繰返し言ふ如く、五歳以上は既に初等教育であつて保育ではない。故に文部省の「指針書」にも教科課程を定めて、その大綱を規定してゐる。

「三Rと呼ばれる科目—讀方・書方・算術の三つは、舊くからイギリスの學校では根本的な科目とされ、將來の進歩に對する鍵と見られて來た。然しそれは單なる外的・形式的理由から強調さるべきものではなく、子供自身の興味と喜びを誘ふ魅力をもつていふ理由で、やはり幼年級の全時期を通じてその主要科目たるべきものである。三Rがいかなる教材を如何なる方法で取扱ふべきかは、地方々々の特別な要求と事情、教師の才能と傾向によつて異り、一様に規定することは出来ないが、幼年級の間に相當の進歩を實現することとは、全ての學校並に教師の任務である。

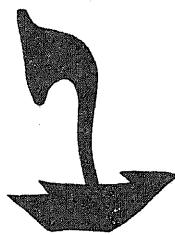
三Rの中でも特に讀方に屬する言語能力は、幼年級の三年間に陶冶さるべき最も大切な科目に屬する。初期に於ては、讀方といつても正確な發音と自由にして流暢な表現といふことが主要な點をなす。その訓練は強制によつては、即ち子供の自然の興味を無視しては、十分の成功を收めるこことは出來ない。五歳の子供は、まだ子供らしい方言と發音とでたゞ／＼しくその思想を表現するにすぎない。これを訓練するにはお話しをしたり、讀んだり、教師級友との會話によつて自分の思想を表現したり、記述を試みたりするこことよつて、幼年級の最後の年には、怖れず流暢に標準語で、自分の考を表は

すまでに、指導されねばならない。然しそれはあくまでも無理のない自然の過程を経て行はねばならない。即ち子供は話したい衝動と興味とに馳られて話すことによつて、不知不識のうちに言語能力を増進するといった風でなくてはならない。

「お話し」はこの時代の子供が最も好むものであるが、その内容・題材は年と共に變つて來ねばならず、又それが當然である。從來「お話し」は教育上輕視されて、従つてその充當時間も少かつたが、これは大いなる誤である、少くとも從來の倍にされてもよい。そしてその内容は動物や英雄・巨人の傳説・神話から次第に各國民の歴史上の事件や物語りに移つてゆくことが必要である。文學や詩にはこの種の材料がいくらでもある。

「三R」は勿論大切な知識であり、特に讀方はこの期間の中心的科目をなすべきものではあるが、それがために他の自然な子供の興味や好奇心を犠牲にしてはならない。特に種々の造形的手工作業・自然の知識・圖畫・唱歌・舞踊等は、子供の興味の的であり、同時に彼等の知性を覺醒・發達せしめる重要な手段である。従つて幼年級の教科課程は事實上、初等級以上のもとの同一なるべきである。

但し固定された時間表を作製することは、少くともこの時代の子供には適當でない。諸種の科目は相補ひ、互に他を強化して以て子供の學校生活そのものを有機的に構成するのではなくてはならない。教師の側に於てあまりに早く「方法」や「材料」に固執することとは、學校といふ社會生活が子供に對してもつ教育的意義を殺すことになる」。



幼稚園とラヂオ

倉 橋 惣 三

一度、學校放送の開始と共に、幼稚園の時間といふものも、始められるこゝなつた。これは久しい宿題の實現であつて、大に歓迎すべきこゝである。このこゝは、我國のラヂオ事業の上に劃期的であるといはれる。しかも、それ以上、幼稚園教育の上に重大の意義をもつこゝである。今

かし之れは逆である。學校と幼稚園が、如何に有利にラヂオを取り入れようかと工夫すべき筈のものである。斯うした見方でラヂオに對することは、少くも餘り遠からぬ將來に於て、どの學校にも幼稚園にも、普通尋常のこゝになるであらう。ラヂオの問題ではない。教育の問題である。

二

先き先きのこゝは暫く別にして、今日だけの話をすることに止まるが、將來に於ては、もつこゝへ本質的に幼稚園の保育法の一部として見られるに至るものに相違ない。之れは學校放送全般に通じてそう言へる通り、幼稚園に於ても同様である。今では、放送局の方で、如何にしてラヂオを學校と幼稚園とに送ろうかと苦心してゐる。し

かも足りるのである。たゞ、音質だけは充分優秀な器械であ

るこゝが望ましいが、音量の方では、大したこゝは少しも
いらない。寧ろラヂオこゝへば、無暗に大きな音を出させ
るのを加減して貰ひたい位である。聽取料は幼稚園は無
料、経常費は殆んじ物の數にも上らない。

聽取計畫に就ても、今日のこゝろ毎火曜日一回（午前十
時十分から十分間）であるから、他の保育計畫に特に根本的
變更を加へるこゝふ程の必要もない。そのプログラムは、
朝の新聞紙に出るし、注意深い人なら前夜のラヂオでも知
れる。しかし、それでは餘り急であるから、放送局に申込
んで豫定番組表を送つて貰ふに越したこゝはない。又、そ
れだけの用意は是非して置いた方がいゝ。

次にいよ／＼火曜日の午前である。ラヂオはいふまでも
なく時間を一分も違へない。のみならず、それに驅けつけ
るこゝ風の仕方では、到底落ちついた聞き方が出來ない
から、少くも五分前位までには、幼児をちゃんと席につけ
て置く必要がある。若し又、その日のプログラムに關聯し
て、その前に話してもして置くこゝすれば、一層落ちつかせ
得るであらう。兎に角二三分前にはスイッチを入れて置い

て、最初の聲から聽き落さないやうにしなければならない。
殊に、その前から、充分器械をあはせて置くこゝは最も大
切である。時間が始まつてから音の具合を調節したりする
不用意は、大いに禁物である。

プログラムの中には、幼児の齊唱を促すようなものもあ
るかも知れない。しかし、多くは、静かに聽かせるもので
ある。童話にしても、音樂にしても、その他、幼児に注意
を集注させる場合が多い。こゝろが、純聽覺的注意の集注
こゝろこゝは、幼い子ども、殊にそれが多勢集つてゐる時
には、必ずしも容易でないものである。この點の訓練こそ
ラヂオ聽取の最緊要事である。これが爲には、騒いでは聽
えなくなることを、よく言ひきかせて置くこゝもよから
う。人の邪魔になつては悪いこゝ風のこゝを、よく話して置
くのもよからう。しかも、その時こゝなつて何より一番大切
で又有效なこゝは、先生方が靜坐して傾聽してゐるこゝで
ある。

學校放送では、聽かせながら、先生は先生こゝして活動し
なればならぬこゝもある。しかし、幼稚園では、たゞ聽

いてゐればいゝこゝが多いであらうし、何しろ十分間であるから、第一その暇もない。先生自身熱心に聽いてゐる態度そのもので、幼兒達を指導する外はない。幼兒と共に聽くこゝ以上、自ら先づ熱心に聽くこゝによつて、幼兒の注意を集注させる必要があるのである。

尙ほもう一つ大切なこゝは、十分の放送が終つた後に、すぐ急いで立たせたり、騒々しく其の席を動かせたりしないこゝである。暫時静かにしてゐて、徐ろに立つやうにさせ度い。之れは直接に話をきゝ、音樂をきく場合でも同じ心がけでなければならないが、ラヂオの場合特に大切である。餘韻を味はふこゝは幼兒に要求すべきである。この意味に於て、之れは教師のためのいゝ参考であり、少くもいゝ研究の機會を提供せずには出来ない。直接に幼兒の前に立つ時には、表情や手振や、その他いろいろの所謂補助作用が使へる。時として、幼兒を抑へる爲ににらみの手もあり得る譯である。比較的活潑自在である。それがラヂオでは、一切除かれてゐる。效果を生むものは、聲、發音、語句、緩急、抑揚等、聽かせ方をして純な要素ばかりである。技巧上の細心な注意なくしては成功し難い。殊に、ラヂオの聲ほどその話手の心の動きのありのまゝを傳へ又裏切ること眞實なものはない。口さきの技巧では決して、眞の效果は得られない。それこそ、ほんとうに心の底からの苦心がいるのである。しかも、その

放送のプログラム内容ごとに就ては、その特別委員

三

效果に對して、最も敏感で最も正直な幼兒が聽いてゐるのである。幼兒といふ反射鏡に、まづさもこじらへどさも直に反映せずしてはゐないのである。こんないゝ研究機關はないといつていゝ。

教師の時間といふものが、放課後に設けてある。これは、先生の研究のための放送である。そんにいろいろ有益なことが教へられるに違ひない。しかし、それに劣らぬ有益な研究が、苟も研究心ある先生には、子さへの放送時間に於て出来ると思ふのである。それは何も、今後自分が放送する時に役に立つだけの研究ではない。聲音の純粹效果に對する、殆んど科學的な程の鋭い研究である。誰れでも、幼兒のために語り又歌ふ時に役に立つ研究である。

四

先生の研究はまあ第一としても、子さのために折角放

送せられるのである。何よりも先づ、子さにも聽かせるこにこつこむべきである。そして、その一つへの放送をそれとして聽かせるだけでなく、進んでは、幼稚園の全保育の中へそれをどう利用し活用するか、そこまで次第に工夫

せられてゆく必要がある。ラヂオはラヂオで別もの扱ひされることは、除けものにされるよりはいゝかも知れないが、まだ足りない。そして、それこそ、先生の大きな働きに俟つのである。ラヂオが發達すれば先生がいらなくなるなんといふことは、冗談半分ながら往々言はれる言葉である。以ての外である。若しそんな言葉が、ラヂオの效果の力說のために言はれるとしたら、所謂最貧の引き倒しである。幼稚園は先生あつての教育機關である。そんな文明の利器こそ雖も、先生の位置を奪ふことは出来ない。幼稚園放送でも學校放送でも、ラヂオによる教育といふ意味は、ラヂオが先生の代役をつゝめるといふのではない。先生がラヂオを使ふことの意味である。言ふまでもないこことあるが、萬一考へ違ひされたら、飛んでもない最大誤謬である。

五

火曜日の午前十時十分。全國の幼兒が一齊に同じ楽しみに居るこじふことを考へるだけでも愉快なこことある。

【書須必の園稚幼】

七版突
破

東京女子高等師範學校
教授・附屬幼稚園主事

倉橋惣三先生著

▲六版三百餘頁頗る美本
▲口繪十六枚・插繪多數入
▲保育法の實際實景紹介
▲定價二圓五十錢送十六錢

幼稚園
幼稚
保育法典
説

○倉橋先生保育眞諦

日本のフレーベル倉橋先生の代表的名著茲に出来。發行後僅に數ヶ月にして既に七版を突破し、我が國保育界の明星として一齊に大歓迎を受け愛讀又熱讀さる。東京女高

師附屬幼稚園の園児等は先生を「おぢさん」と稱して相敬慕す。此の倉橋先生の保育法の眞諦即コツを悉く本書に披瀝さる。

○現代の保育法原論

本書は懇願數年初めて元成されたる新著にて、現代に於ける最も完備し且系統を保育法原論である。倉橋先生は稀に見る純眞の教育者も著書少く系統ある力作は本書のみ。

○保育界著宿の力作

著者は幼児教育並に家庭教育の第一人者として最も此點に御關心深き、兩陛下の御前講演の榮に浴され又屢々各官家よりの御招聘ある我國保育界の耆宿にて、本邦第一

卷之三

事、文部省社會教育官とを兼ねられて人間味豊かな人格者として定評の士である

一 教育に於ける目的と對象

個性の陶冶
六五 保育案と保育項目
四個の時間割
第四篇 保育誘導案

次目並色特の書本

六 幼兒生活の誘導

二 無案保育 案の意義

第十回 保育の生活 第三篇 保育過程 實際 幼稚園の朝

七八流れの向け方 九生活の偶發性 日々の實際生活の尊重

三大費出の 四わたし達の自動車 五特急列車『うさぎ』號

第四篇 保育誘導案 の試み

第一回
洋圖書株式合資會

大坂

【書良の備必須必】

東京女高師教授
附屬幼稚園主事

倉橋惣三先生

同校保姆新庄よしこ先生共著

洋綴天金上製
定價三圓八十錢

日本幼稚園史

特色

大好評

東京女子高等
師範學校教授

・現附屬幼稚園主事

堀七藏

先生著

四六判四一六頁
價二圓八十錢
送十六錢美本

一二、二十年苦心の結晶漸く完成す
一二、草稿千餘枚插繪數百整理成る
三、日本幼稚園史として比類なし
大震災にて一時頓坐更に繼續再計畫の上蒐集考察研究完成す
倉橋先生畢生の努力と新庄先生懸命の助力にて此の名著成る。
皇后陛下行啓の榮を得し我が國幼稚園本山の大記念塔。

三二、幼稚園保育上の重要問題の實際に立地に連絡問題に就ての實例的解説付ける
理論的見地に立ち保育實際に理論付ける
は大解決指針
特色

(一)理論 (二)實際 (三)小學校との連絡問題につき詳述され
明瞭なる理論を以て保育實際に理論付け且進むべき方指向を明示する。權威書。

幼稚園保育の諸問題

兌發

社會資合式株書圖洋東

京阪 東大

番七三〇一京東替振・目丁一町保神・區田神市京東
番六五五九三阪大替振・地番八二目丁一町寺堂安内・區南市京阪大

兒童心理學文獻抄

七

牛 島 義 友

幼兒の言語の發達

動物と人間との區別する標準として言語の有無を擧げる

1918) も擧げる如く言語の第三の機能即ち敘述—物の名前を云つたり、事柄を説明する—云々風な事—に於ては動物と人間との間に越ゆべからざる間隔がある。

人が多い、併し養鷄家は鶏の啼聲によつて彼が食物を欲してゐるのか、産卵する爲に巣を探して居るのか、或は友を呼んで居るのか、外敵襲來を告げて居るのかをよく聞き分ける事が出来る。又アメリカの動物心理學者ヤーキスは音

樂家と協力してチンパンジーの音聲を音譜にさりその聲に幾通りも種類があり、又單に強弱長短の差のみならず音律の異つて居る事を明らかにして居る。之で見るに動物でも血肉の氣持を表はす事並びに他のものにそれを傳へると言ふ言語の重要な機能を有して居る事が分る。併しそう

—(K. Bühler : Die geistige Entwicklung des Kindes

此の幼兒期の言語の研究には完全なものが外國には非常に澤山あり、言葉の變化、増加の狀態を毎日日記にちつて數年に亘つた記録が少くない。日本に於ても此の種の研究は割に多いが完全に資料の發表されて居るのは、久保氏の研究である。

久保良英、幼兒の言語の發達、兒童研究所紀要卷五、大

正十一年

氏は自己の三人の男の子を出生から満六歳に至る迄繼續的に觀察して居る。先づ言語の發達を三期即ち叫聲期、單語期、文章期に分けて觀察して見る。此の中、生後一ヶ年迄の分丈を見る事とする。

一 叫聲期、子供の泣聲は生後數日間は殆ど區別をする事が出來ぬが、二十日頃に始めて饑え又は痛みを表はす泣聲を其他の泣聲から區別する事が出來た。此の頃の泣聲は動物が色々の慾望に應じて發する所の種々の泣聲全く同じであつて、聲の強弱、高低、長短、急緩の相異がある丈で、色々の音質が出されるものではない。人間の言語は次の喃語の時から始まるものである。即ち久保氏の場合五十七日目に觀察者が舌打ちし乍ら子供の頬をついた所子供が笑顔をし、ウンガ、ウンガー、ウンガーミ聲を發した。かう云ふ單音は主として氣分の好い時に發せられる云ふ事である。ビューラーは此の子供の快適な時に遊戯的になして居る發音運動を喃語の獨り言云つて居るが、此の時期に於て色々な語を發音する事を覺える。これ以前の時期は主として

してア、エ、オ、ウ等の母音が發音されて居つた丈であるが、此の頃から子音を發音しまづ脣音のB、P、Mが表はれ、咽喉音、R、Ch、Kは一番あこに表はれてくる云はれてゐる。久保氏の場合、母音の出現した順序は長男はウエイオ、次男ウアオイエ、三男アウエオイで、子音は長男ク、ン、ハ、ツ、バ、ブ、バ、ヤ、チャ、マ、ブ、ボ、カ等であつた。又此の喃語にはまだ一定の意味は具つて居ないが、併しやがて多くの意味が之から分れて來る意味の源が含まれて居る。此の時迄の嬰兒の音聲はいはゞ萬國共通語であるが、此の時から始めて各國語に分化する土臺が出來て來るのである。

二 單語期、子供が最初に有意味の言葉を發する時期を始語期と云ひ、精神發達の重要な表徴である。一二百二十九日目に乳その他のものをねだる時にアーンミ云ひ、三百四十日目に自動車の事をブー／＼と云つた。而して満一ヶ年の終迄に長男は四語、次男は三語、三男は五語を發して居る。更に生後一ヶ年迄の有意味語を數へて見る云長男二百語、三男二百五十四語に上つて居る。此の急激な語彙の増

加状態をも少し精詳に調べて見やう。之に就ては大脇氏が同じ様に自己の二女に就て觀察されて居るが其結果を述べる事にしよう。

大脇講 I' Die ersten zwei Jahre der Sprachentwicklung des japanischen Kindes Toh. Psych. Fol.

1933 (日本児童生後一ヶ年の言語發達)

氏は毎月に於ける新しく増加した語彙の數を次の如く表示して居られるが、之を見るに月によつて著しく増加する月々停滞してゐる月があり、言語の發達は波状形をなして居る。

月	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
長女	1	3	1	7	6	9	18	15	5	27	65	27	72
次女	0	3	9	10	10	26	16	30	27	59	54	34	128

而も、後に至る程一ヶ月の増加量が非常に多くなり、二十二ヶ月目には次女は百二十八語も新しく覚えて居る。此の増加状態は更に三歳、四歳になる程激しくなるが、之は又後の機會に述べる事にする。

次に此の喋ぐる言葉の種類を見やう。久保氏の結果に基いて品詞分けて見るに次の如く、名詞が最も多く、動詞、形容詞、副詞、感動詞の順になつて居る。

品名動助形副助

詞詞詞詞詞詞

長男 133 30 12 9 5 2 9

男三	162	36	20	17	7	1
----	-----	----	----	----	---	---

之は新しく使はれて居る言葉の分類であるが、平常毎日何語位喋べり、如何なる品詞を多く使ふかゝることも調べて居る。即ち長男の満二歳一ヶ月の時に一週間の間毎朝午前九時から十時迄一時間の間に子供の自然に喋べつた言葉を全部速記した所七日間の平均は次の様になつて居る。即ち名詞、八十八・七、代名詞三十五・一、動詞七十六・七、形容詞三十三、助動詞四十九・三、副詞三十八・三、接續詞一、助辭九十・七、感動詞一十八・四になつて居る。之によると平素喋べるのは名詞、動詞、助詞が最も多くて接續詞等殆ど使はれて居ない事が分る。此の事は子供はいつも短かい文章で、云はんとする事を直截に修飾なしに喋べつて

るる状態をよく表はして居る。以上の一時間の總語數は四百四十一・四語となる。もし假に起きて居る十二時間の間同様に喋べつて居るこすれば一日中の語數は五千一百九十六・八語云ふ夥しい數になる。

尙此の頃の子供の言葉云ふものは決して大人と同じ様な言葉ではない。所謂子供のなまりがあるがその形式を次の六つに分けて見る。省略（コーキ、飛行機の意）、轉化（チャットウ、砂糖）、類化（チャメヌ、キャラメル）、轉位置（コモド、子供）、添加（オンボン、お盆）、融合（オーチャイ、大きいと小さい）である。

序でに子供の言ひ誤まりに就て少しく詳しく述べて見やう。之に就て大西氏が次書の中に於て、

大西雅雄、應用音聲學、口語の發音、昭和六年

東京の五歳以下の子供約六十名の中から言葉の誤まりを五百程集めてその分類をなして居る。

一、亂れ音、之は音節の亂れたもので、例へば「イタダキ

マス」を「イタキリマス」と誤まり、「アベコベ」を「アコベ

ベ」と誤まる。

二、音節の省略、「イツティラッシャイ」を「イッチャイ」、「チクオニキ」を「オンキ」。

三、子音の脱落、「ジドーシャ」を「ジオーチャ」、「ラッバ」を「アッバ」とする。

四、「チ」音化作用、(tʃ) 音は嬰兒には容易に出される音なので、何でも此の音に化す傾向がある。「サミセン」「チャミセン」、「ウルサイ」—「ウルチャイ」、「クツ」—「クチュ」。

五、「ラ」行くづれ、之は舌の廻らぬ者に多い。ローソク→ドーソク、ラッバ→ダッバの如し。

六、間に合せ音。他の音で代用するもので、カハイイ→カバイイ、オナベ→オナメ、ミシン→ニシン。

七、同化作用と轉置作用、同化作用とは強い觀念や困難な發音に影響されて、其前後の音が美化せるものを云ふ。例へば、コマゴメ→コマモメ、アオヤマ→アヨヤマ、ジドウシャ→ドードウシャ。

轉置作用とは前後の音が位置を換へるものテヌグイ→テヌイ、チャガマ→チャマガ。

其他以上の諸作用の複合せるものがある。オキヤクサン
→オチャツチャン、タマゴ→タガモ。

三 文章期、始めの中は所謂單語文の時代であつて例へば幼児が「イヌ」云々た場合には犬が來たとか、犬が吠えたとか、犬よ、來い、云々た風な意味を表はすので、一語で一文章を意味して居る。此の時代が六ヶ月位も過ぎて始めて、二、三語を合せて文章を形造つて来る。二語文の

時は名詞と動詞丈であるが、三語以上になると色々複雑な形を示して来る。此の場合文章構造の一條件として、印象の鮮明な物が先に置かれる、例へば(バッヒンブー(汚ない自動車)あつた。坊見た)の類である。

以上の二段階を経て児童語が發達して来るがその時期は各兒童によつてそれべく異つて来る。智能の高い子供は一般に早く言葉を言ひ初めるが、又環境の影響によつて言語の發達が著しく異なるつて来る。此の問題に就ては山下氏の紹介を参照されたい。

山下俊郎、環境と言語の發達、口語教育講座

言語開始の時期丈に就て見てもヘッツェルの研究によれ

ば社會的經濟的に上層の者と下層な者の相異は次の如く前者では一年六ヶ月で全部の子供が言語を言始めて居るが後者では一ヶ年もかかる(次の數字は其年齢に於て言語を言始めた者の割合である)。

十二ヶ月以前	一年三ヶ月以前	一年六ヶ月以前	二ヶ年以前
上層	六十五	九十一	一〇〇
下層	一	四〇	七十一
		一〇〇%	

又兄弟の有無によつても異つて来る。普通弟は兄より早く言ひ始める云々はれて居る。併し最近の研究による云々兄弟の在る事が言語開始を促す云々のみ言へず、然らざる場合も多くて何等決定的事は云ひ得ない状態になつて居る。尙以上の外に言語發育状態を診斷する爲の諸検査があるが、紙面の都合上文獻をあげるに止めてをく。

石川七五三一 幼兒發音検査法の標準化 愛知縣兒童研究所紀要第五輯

加藤正英 二歳児に於ける言語發達尺度 心理學論文集

第四輯 昭和八年

尙以上に摘録した以外の主要邦文文獻

澤柳・長田・田中 児童語彙の研究 大正八年

第四輯 昭和八年

城戸幡太郎 子供と國語 子供研究講座第五卷 昭和四年

柳田重久 幼児の言語發達 國語と國文學 昭和五年

年 松本金壽 児童の言語 教育科學第十九冊 昭和八年

同 兒童に於ける言語の發達 最近の心理學の國語教育の問題

城戸・井原 昭和八年

兒童語の表現形態 教育心理研究第六卷
言語の教育的環境に就いて 心理學論文集

募 集 規 定

童謡募集について

先月號に募集發表致しましたがもう各地の皆様のお話をつきくにおよせいたゞいて居ります。さうぞ奮つて應募なさいますやうおすゝめ致します。

- 一、應募作は幼児にうたはせるに適するもので、主題及長さ等は隨意、但し必ず創作のことを
- 一、應募篇數任意
- 一、原稿用紙にベン書のことを。(原稿は一切返却せず)

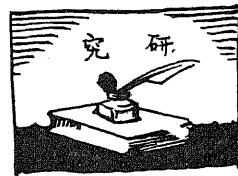
- 一、應募者は宿所氏名(誌上匿名隨意)奉職園(校)名明記のこと
- 一、宛名 日本幼稚園協會童謡研究部
- 一、締切 昭和十年六月十五日

- 一、選 本協會童謡研究部委員

入選作若干は専門家に依頼して作曲の上本誌に掲載し、帶留或はピンを賞品として贈呈致します。
尙御不明の點は往復はがきにて本協會にお問合せ下さい。

一年間の保育(一)

大阪市御津幼稚園 宮本光代



何處も彼處も嬉しい花の便りに心の時めく四月が参りました。學校を出まして丁度まる三年の年月が経つて春が再び廻つて來たのでござります。静かに後を振向いてみます

時、今更の様に時の流れの早い事を考へて、何とも言葉もございません。最初就職致しました年の九月に赤組との縁

が結ばれましてから、一昨年は紫組、昨年は又赤組、三年こも年少組計りを受持つてまるりまして再び新學年が訪れました。今年は、初めて年長組を受持つ事になつたのでござります。軟かい春風を受けて私の心は新らしい慶びでいっぱいございますが、さて、之れからの一年間、どんな生活が顯はれて行きますか、其れは今後の楽しみを致しまして、今、過ぎ去つた年少組一年間の様々な事を日誌のべ

てめぐり乍ら思ひ出すまゝに書き留めて見たのでござります。

四月

四月八日に入園式がございましたから新らしい三十人の子供を迎へる事になりました。當日母親に連れられて初めて遇つた子供の姿は、まあ何ともぢらしくも幼なかつた事でございません。中には満四歳に満たない子供も四人交つて居ります。一番年下の組でござりますので尙更あさけな其の姿を見るに、抱き占めてやりたい様な可愛さで一ぱいでござりますが、さて、之れからの一年間、どんな生活が顯はれて行きますか、其れは今後の楽しみを致しまして、今、過ぎ去つた年少組一年間の様々な事を日誌のべて、今、過ぎ去つた年少組一年間の様々な事を日誌のべて

も之の一年間一所懸命になつて無事に過して行かねばならぬと覺悟を定めて、燃え立つ思ひで進んで行かうと致しますのに直ぐ後から「自分の様な者に果してそんな大役が出来るのかしら」と躊躇ふ弱い心が時々暗い蔭を作る所以ございました。それからは毎日く、張り切つた生活が續けられて行きました。最初の中は未だ母親の膝元が懐かしいあの子達に、決して、淋しい思ひをさせてはならぬとの氣遣ひから皆が一緒になつて面白く遊べる様にと思ひまして汽車遊びを始めました。それは全部の子供を次々に、前の子の肩を持つて繋ぎ合はせて、之れを汽車に見立てまして赤旗を先頭に振り立て乍ら「汽車々々走れ機關車は先に、荷物は後に、ボツボツボツボツ走れ、シユッシユッボッボ。シユッシユッボッボ」と繰返し繰返し歌ひ乍ら、園庭をぼつ歩き廻るのでございました。斯う致しますと置き忘れる子供も手持無沙汰の子供も無くさうしても附添ひを離れない子は片手で前の子供の肩を持ち、他方の手で母親の着物の袖をシッカリと掴み乍ら矢張り一緒に汽車中の一人に加つて居りました。それが赤組計りでなく紫組も桟組も黄

組も共に、長蛇を作つて、「汽車々々走れ機關車は先に、荷物は後に……」と歌ひ乍ら歩きまはり行違ふ有様は、傍で見る目も和やかな光景で子供も非常に喜んで居ります。

そして或時は砂場で或る時は遊動圓木で次はぶらんこの前でと云ふ風に停車して其處で充分遊びましてから一先づ保育室へ連れて入るのでござります。お部屋へ入りましたならば鼻をかむ事と櫛で髪を梳ることと、雑巾で机の上を清めることと、之れだけの仕事を致しまして改めて朝の御挨拶を交はします。その他にオルガンを鳴らして歌を歌つたり、お歸り前には、帳面へお判を押して貰つたり、する事なす事が皆珍らしい事計りですので好奇心も手傳つて、非常に興味深い様子でございました。最初の中は九時の始業で十時半のお歸りにして居りましたのが徐々に十一時半まで延してまるりまして汽車遊びも或は切符を作つて動物園行きに致しましたり花見の客を乗せて桜の花の下でお遊戯をいたしましたり一週間位面白く續きましたでせうか。其の中に之れが次第に單調になり出しまして、わざと肩持つ手を離して、「やー切れたー」と騒ぎ出したり一人で走り出し

たり致しまして途中屢々停車して修繕しなければならなくなりました。けれど日を重ねるに随つて逍遙幼稚園の環境にも馴れ一人でも安心して遊べる様になつて参りましたので、其の後は特別な子供の誘導に力を入れてみる事に致しました。

初め三人計り部屋へ入る時はどうしても母親を離さなかつたのが間もなく窓の外で見てゐて貰ふ事になり門の傍でもよい事になり、して二週間位で大體附添ひを離れて了ふ事が出来たのでしたが一人、三年児の中に、片時も附添ひの手を離さず保育室へ入るのが苦になつて仕方が無かつた子がございましたが或日試みに女中に退いて貰ひましたがのが悪く、後で猛烈に泣き出しました。其の後風邪を引き添へ二週間計り床について居りましたのが病氣が癒つてから幼稚園へ行くのが苦に成り出して、休園する日が多くなりました。其の前の苦い経験が残つてゐたからでございませう、家でも未だ年も行かないのだから一年延したらいい、だらう云ふ事になつてそのまま休園を續けて居りましたがさう～五月の中頃退園して了ひました。こんな事情で

折角預かりました子供の一人を早々失ふ事になりましたのは思つても思つても殘念で、悲しい事でございました。然し後の子供はお蔭で益々樂しみを加へて参りまして二十日頃から會集場へも出る様になり二十九日の天長節も舊園兒と共に、遊戲室でお祝ひ申上げる事が出来ました。

四月中の保育事項

(一) 手技

お山(赤色摺み紙) 自由畫 園旗(麥藁つなぎ) 櫻ちらし(貼り繪) 國旗(麥藁つなぎ) 粘土製作(園子)

(二) 談話

一、花子さん 一、猫のお見舞 一、小さい小さいお婆さん 一、可愛いボチの働き 一、づぶ濡れになつた次郎さん

(三) 唱歌遊戲

はこぼっぱ、汽車々々走れ、僕は軍人、つぼめて開いて

(四) 行事

一日、始業式 八日、入園式 二十九日、天長節
三十日、身體検査

五月

一日から真鯉紺鯉の鯉幟りが園庭に立てられまして毎朝子供達を元気に迎へて呉れる事になりました。築山はつゝじの花盛りですし藤棚の薄紫の房も日に日に伸びて参りました。木の芽も遅れじと計り緑の葉を勢良く擴げてまわりました。一年中で一番眺めの美くしい時でござりますので随つて外に出て遊ぶ時が多うございました。未だ自由遊びに致しました所が砂場にしろ、壇にしろ臺に致しましても大體私を中心にして遊んで居りました。それで限られた遊具では、奪ひ合ひや仲間はづれの子供が出来まして折角此方の心盡しも返つて、禍ひの種を作る事になりますので一度出した飯事道具も子供が大喜びしてゐたにも拘らず直ぐ又引こめて了つた事もございました。

然し大勢の子供の中には、保育室の中ですご顏色も生々して相當友達同志の交渉も行はれて居りましても外に出るさ何だか怖けた様子で遊ばなくなる子もござります。斯う云ふ風なのは、何か私に訴へたい事でも心の中に持つてゐ

るのでないかしらん始終氣になりつゝも、又出來るだけ力づけて内から誘ひ出して皆と一緒に外遊びの面白さを樂しむ様に仕向けて行かうと致しました。外へ々々と、外出計りを勧めるご申しましても、保育室は、自分達のお部屋として特別な親しみ温かみを持たせたい。遊び疲れた時、話し合ひたい時、子供の心に任かせて何時でも之の部屋に足を入れる事によつて慰安と安心が得られる様にして行きたいとは始終願つて居る事でございました。

保育室と遊戲室とは續いて居りましたて朝は隔日に年少、年長の會集が此處で行はれて居りました。拍子の合団で一旦保育室へ入つて整容を済ましてから静かに入場して、整列が出来ますご遙拜、君ヶ代合唱、皆の挨拶、園長先生のお話、ご云ふ順序で始められます。そして後は、歌を歌ふ時も、歌はない時もあつて、保育室へ歸りますご、引續き保育項目の中の何か一つを致しまして自由遊び。そして十時に再び拍子の合団でお部屋へ入つて、お歸りの支度に取りかかる。大體そんな風な形式で毎日の保育が行はれて居りました。氣持良く晴れた日なぎは、早く歸りますのが

惜しい位で、お辦當を開いて午後にまで續けて居りたいと思ふ事もある程に今年の組は割合に順調に進んで参りました。特別に取扱はねばならない様な子供も申しましても門の所で附添ひの顔が見えなければ未だ承知出来ない子供も、何と云はれましても遊戯をしない子供もが異例でございましたが暫く時を待つ事にして居りました。

そして初めての園外保育の一日を助松の海濱で愉快に過し、引續いて嬉しい端午のお祭りもあつて其の日はお二階の廣間で、御祝ひの御馳走を頂いたのでございました。

五月中の保育事項

(一) 手技

自由畫 舟(摺み紙) 三色の旗(塗り方) 麦藁つなぎ
粘土製作 自由畫 チューリップと蝶(貼り繪) 蝶々
(摺み紙) 粘土製作(櫻餅) 塗繪(チューリップ) 蝶つなぎ(麦藁通し) お菓子(切り紙にて) 自由畫 写真
の製作 鯉幟りの貼り繪

(二) 談話

一、兎の友達 一、牡雞と猫 一、猫と小鼠 一、猫の

お見舞 一、金太郎 一、鼠の親子 一、白いもの

(三) 唱歌遊戲 (◎標は歌のみ)

◎一、鯉幟り 一、金魚 一、金太郎 一、お玉杓子
一、競技(人形送り) 一、出して引つこめて

(四) 行事

八日、體格検査 十日、新橋渡初幼兒旗行列祝賀
十八日、記念撮影 十一日、口腔検査 二十二日、
朝顔の苗植 二十四日、園外保育(千里山) 二十六
日、端午の節句會 三十日、東郷元帥薨去遙拜式

六月

此處の幼稚園は大阪市としては、可なり澤山の樹木が植ゑられて居ります。それが暖い光を受けて日増しに青々と育つて参りました。藤、柳、無果花、もみぢなぎ、新緑の頃の幼稚園も又一しほでござります。此の頃更に園庭の所、手を加へる事になりまして先づ兎小屋がグリーンのベンキで塗り替へられましたし、池に噴水が設けられて赤い金魚も澤山放たれました。金魚と共に玉杓子をわざく

郊外から拾つて持つて來てくれた使丁の心盡しも有難く受けた事でございました。

元來が自然に恵まれない都會地ですので日當りや土の關係で草木の肥立ちが悪く困つて居た所へ一度に色々の草花が買ひ求められましたので花壇も急に賑やかになつてまるりました。此の外に、嘗ての日、子供達と共に植ゑました朝顔の芽も程良く伸びて參りましたので如露をさげて自分の受持ちの鉢に水をやる事が毎日の楽しい仕事になつて居りました。

一時如露を用ふのが非常にはやりまして花壇以外の路でも構はず撒き散らして、水溜りを作つたり、靴の中へ受けたり致しまして、エプロンから洋服まですべ濡れにして了つた事もありました。水をいちつて遊ぶ事は砂遊びと共に、子供には最も興味深く喜ばれる事で、百も承知して居りましても、大人の目から見ましてどうも不都合な事になりやすいので悉く子供のしたい儘に任せて置くわけには参りませんでして干渉がましい事を時々申しますが其の都度、最もいゝ保育方法は子供を叱らずして導き育てゝ行く事だ云ふ氣持が強く出て参りまして反省させられるので

ございました。

入梅致しましてからはじめ／＼鬱陶しい雨の日が多くなりました。遊戯室や大積木は大方年長組に占領されて丁ひますので自然保育室の中計りで繪本をみたり小積木を使つたり飯事道具を擴げたりして遊んで居りました。そして霽れ間を待ち詫びては、喜んで外へ出でまゐります。園庭では藤に變つて二本の榴柘の大本が花盛りになつて參りまして、それが雨の後は殊に澤山の赤い花を落して居りますので其れを拾ひ歩くのが又樂しみな事になつて、雨の降る中を止められるのも聞かずに取りに行つて濡れて歸つた子もございました。其の花は飯事や首環に使つたり兎に食べさせたり致しますので子供仲間でとても重寶がられて居りました。花びらを水に浮べて金魚屋につこを始めましたのも良い思いつきでございました。

然し暑さは一雨毎に加はりまして赫々と輝やく太陽も次第に暑い々々夏の前兆を示してまるりました。

六月の行事を致しましては時の記念日がございましたが其の他は季節に従つて自然物中心の保育が行はれて居りま

した。

六月中の保育事項

(二) 手技

塗繪(鯉幟り) 粘土製作 自由畫 お菓子(切り紙) 飛行機(摺み紙) 置時計 粘土(果物店) 自由畫 きりぬき(摺み紙) 粘土(八百屋店) 籠(野菜入れ。畫用紙にて)

金魚鉢(金魚を貼る) 粘土(八百屋續き) 汽車の貼り繪 自由畫(汽車) 燈籠(畫用紙にて) 一二隻船(摺み紙) 金魚鉢(金魚の切り繪) 塗繪(飛行機)

庭隈

よく晴るゝ五月の空より庭隈に
菖蒲の影長うして

(二) 談話

一、桃太郎 一、赤いめんざり 一、鼠の親子 一、金魚こかへる 一、赤ん坊爺さん 一、三郎さんこ餌 一、お爺さんこ鼠 一、兎の友達 一、三匹の仔犬のはなし

影伸びて窓に至れり若末葉
ゆるゝにつれて光れる硝子
むらさきの庭はうれしも藤たなの
じたばほのかに風も匂ひて

(三) 唱歌遊戯

一、汽車が通る 一、ボートレース 一、螢 一、かいぐり 一、猫ねこ鼠の競争 一、ボート 一、お玉杓子 一、大きなお日様

(四) 行事

五日、故東郷元帥國葬日、午後十一時遙拜式 十日、
時の記念日 十一日、本日より八時半始業 三十
日、月例身體検査

縁植の一、二、三に就て

大 岩 金

櫻花の後の新緑も一雨毎にその緑をまして美しく見えます。

この緑を背景にした花壇、これも四月の大部分が秋植球根類やフレームで育てられたものであつたのにかへて五月六月は秋播しておいた二年草や、株分、芽分けしておいた多年性草の露地物に代るのです。

二月號に記しましたものゝ中、ブリムラボリアンサスはもう花は終りをつけましたけれどもまだ葉が青々と茂つて居りますので終つた花梗を根元から切りこれは緑として觀賞する事が出来ます。その他のものはまだ／＼奇麗に咲いて居ります。尙今から全盛に入るものはフランス菊、キンギョサウ、スキートアリッサム、ロベリア、マツバギク、ムシトリナデシコ、美女桜、矢車草なぎの二年草、芍藥、牡丹なぎの多年性草であります。後者は花壇にあつても美

しく又切花としても廣く愛好されて居ります。
挿木に就て

草花の挿木は温室を利用しますならば、ほんぎ周年行事が出来るのであります。露地にありますてはこの期まで待たなければなりません。

そしてこの期において挿木するものは草花類にあります。ゼラニウム、サボテン、菊、ベゴニア、カーネーション、ダーリアなどその主なものであり木物にありますては常綠樹で挿木繁殖を主とするのは今月末から入梅期にかけて挿木すればよく活着するのでツツジ、椿、山茶花、青木、八ツ手なぎその類であります。

花壇の縁取用として一番におすゝめしたい白丁花是も常綠なまでは行きませんがほんぎ年中緑を保つて居り初夏の候には淡色の可愛らしい花さへも見る事が出来ます。是

もそろく刈込を始めてその先を次へ々々々挿木して行きませう。

白丁花に就て

一、挿木の時期は今月から十月頃までは何時挿してもよく活着致します。

二、長さは約十纏。刈込の都合で二十纏も三十纏も伸びた枝からは一本も三本もされるわけでありまして、他の挿木の場合のやうに枝先に限らず全部使用出来るのであります。

三、一株ごして挿す量は數本をまごめて上下を揃へて切り落して挿します。この時枝の上下を混同せぬやうに注意致します。

四、挿床は九月迄はあまり日光の強く當らない所を選び十月に入つてからはなるべく日當りのよい場所を選びます。

床土は別に選びませんがんな所でもよく活着致します。

五、挿す深さは凡そ枝の長さの半分ごしその部分の葉はごつておきます。そして白丁花は丈夫なものでありますか

ら一枚づゝ丁寧に鉄を用ひませんでも手でもぎ取つても差支へありません。

六、間株は挿床に挿して根附いた後相當の大きさになつて植出し致しますやうな場合には十纏位もあけておけば結構であります。が、極一時的で根附きさへすれば直ちに植ゑ出す場合ごか或は直接花壇の縁に挿木する場合なきには更につめて五纏内外にする事もあります。後者は外觀のわるくない程度の間隔を保てばよいのであります。そして大きくなり株の込み合つて來ました時に適宜植替を致します。

七、灌水、春夏にありましては大抵十日乃至二週間もしますれば細根が出来ますからそれ迄はよく注意して乾燥しないやうに灌水してやります。發根後は特別乾燥した時の外は灌水しなくともよいものであります。

秋挿の場合は最初に充分灌水しておきますればその後は根附くまで時に乾くにつれて灌水する程度でよいのであります。

八、植ゑ出し、春挿のものは梅雨期の頃にもなりますればもはや縁取りごとして使用する事が出来ます。夏挿のもの

は秋に植ゑ出し、秋挿しましたものは來春を待つて植ゑ出した方が安全であります。

九、その他の注意としては炎暑の候に挿木しましたものの一層灌水に留意する事、秋挿するものはなるべく早くして降霜の期に入ります迄には充分發根して霜の爲に浮き上がるやうな事のないやうにする事、もし未だ充分に發根して居ない爲に浮き上ったやうな場合には早く根元を壓してやる事、花壇に直接挿木する場合には特別注意して株の大きさ、高さなどを揃へて挿す事などであります。

その外縁取用としての灌水には葉の小さいツツジ、サツキの類を低く刈り込んだものもよろしくボケ、色々葉色の異つた桝木の類もすべて難いものであります、是等も皆挿木によつて繁殖させるのであります前年の白丁花のやうに刈込んだ後次へへへといふでも伸びて何回もの刈込みをするといふ事はむづかしいので、多くは梅雨期に於て挿木して居ります。又挿しますにも前のやうに無難作に挿しては活着し難く今少し丁寧に一本づゝこし、葉も鉢を用ひて切り取るやうにするものであります。それ故先づ初步こし

て今年は白丁花を縁取りとして用意したいと思ひます。草木としてはリボン草が長期の觀賞に堪え且つ栽培も極めて容易であります。前月半ば頃から白い縁の縞になつた氣持のよい葉を茂らせて居ります。七月頃になりまして一度刈り込みますれば又九月頃には新しい葉が出来まして十月頃まで眺める事が出来ます。繁殖は株分け、又は珠數玉様になつた地下莖を二、三個宛に離して植ゑておいてもよろしいので、時期も春秋いづれでもよろしく容易に大量に繁殖させる事が出来ます。



童話 何故さう物語(三)

——チャーレズ・ラム——

中野好夫譯

何故人が焼豚を食べるやうになつたかといふ話

焼豚——皆さん、焼豚を知つてますね、今では、お魚だとか、お肉だとか、御馳走を煮たり、焼いたり、美味しくお料理をして、それからいたゞきますね。ここころが昔、昔、大昔はまだ煮たり、焼いたり、お料理をすることをまだ人間が知らなかつたのです。よろしいが、このお話はその時分のお話なのです。で、あるところにホテイといふ豚飼ひが住んで居りました。そしてホテイにはボーザーといふ男の子が一人ありました。それから豚飼ひながら、豚が居ましたね。それも丁度、可愛い豚の赤ん坊が生れたばかりの時で、櫻色にクリクリ肥えた仔豚が、一つ、二つ、三つ、四つそです、九つ居りました。で、ある朝の、——ホテイはいつものやうに豚にやる栎の實を拾ひに森へ参りました。そこでお家の留守番をしてゐたのは——ボーザーでしたね。このボーザーといふ子供がまた大變な悪戯小僧で、それにもつこいけないことは、火遊びが大好きだつたのです、いけませんね。そこで今日も、お父さんのホテイがゐなくなつたのですから、またしても、こつそり大好きな火遊びをはじめました。ここころがさうでせう、こうした機みだか、傍にあつた萬束に、バッミ火の粉が飛びましたね。するさ見る見るうちに、ボーザーボーザー燃え上つて、お家も何もみーんな、すつかり焼けて、火になつてしまひました。サア、大變でせう。ここころがお家よりも、何より

も、もつこ大變なことは、あの可愛い櫻色にクリクリ肥えた丸い仔豚が一つ残らず、みんなお家と一緒に焼け死んでしまつたのです。ボーボーも急に恐はくなりました。お父さんが歸つたら、何と言はうかしら、お父さんはひざく叱るだらうなあ、——可哀さうに焦茶色に焼死んだ仔豚の前に座つてボーボーはボロボロ涙をこぼして、泣き出してしまひました。その時でしたネ、ボーボーの鼻の先に、ブーンミ、それは奇妙な、なんとも言へない香がして來ました。オヤ、何の香かしら。するごボーボーの鼻の先は自然にピクリ、ピクリ、動きました。お家の焼けた匂ひから——そうでもない……草や花の焦げた匂ひからしら、——イヤ、それとも違う……變だ、變だ、不思議さうに考へてゐるうちに、どうでせう、ボーボーの口元に、いつの間にか、涎れがタラタラタラ、流れてゐるぢやありませんか。サア、何だか解らないこの時、ふごボーボーは思ひました。もしかひよつとして、未だ仔豚は生きてるんぢやないかしら、そうだ、こ氣がつく、ボーボーはソーソ手を伸して、ためしに前にあつた仔豚のお腹に、ヒヨイと觸つ

てみました。がその途端に、ボーボーは、アツツツツ、と言つたと思ふ、大急ぎで火傷をした指先を、いきなり口中へ持つてゆきました。その時ボーボーは、舌の先に、何か今迄食べたこともない、なんとも言へない美味しい味が、ボーッと残つてゐるのに気がつきました。オヤ、變だぞ!!、そう思つて、ボーボーは今度は充分用心をした上で、ソーツも一度仔豚の體を撫でてみました。そして今度は火傷もしないのに、わざつと指の先を口の中に突込みました。ハハーン、解つた!!、幾分のろまのボーボーにも、やがてボンヤリ譯が解つてまるりました。あの香は、そうだ、この仔豚なんだ。それからあの美味しい味も、やつぱりこの仔豚に違ひない、そうだ、そうだ、焼けた皮の片端が、肉と一緒に、指の先に附着いて來たんだ。サア、それからごいふものは、ピツタリ焼け跡に座りこんでしまつて、食べましたごも、食べましたごも、ガツガツ食べましたネ、両手に一杯、黒焦けになつた皮も肉も、一緒くたに、ボーボーは目を白黒させながら、頬張りました。暫らくして、いつの間にかお父さんのホテイが森から歸つて、この恐ろ

しい様子を見るこ、いきなり棒をもつて、ポンポンポンと

ボーボーの背中を撲りつけましたが、肝心のボーボーは、

そんなこまは、蠅の上つたほどにも氣がつくものですか。

たゞもう夢中で、お腹の方の御馳走に何んにもわからなくなつて居ます。やつこもう殆んど御馳走がなくなつてしまつたころでした、ボーボーはやつこお父さんに撲たれてゐるのに、氣がつきました。

『ト』の罰當り奴、何をガツガツ食つてゐるんだ。また惡戯をしやがつて。家も何も焼いちまつて、まだ足りないのか、畜生!! 火まで食つてやがる。エー、それや何んだ!!』

『父ちやん、豚だよ、豚だよ、ネー、食べて御覽よ、美味しいんだから』。

ホテイの耳はガンガン鳴り出しました。そしてもうたゞ無茶苦茶に怒鳴つて居りました。ボーボーはボーボーで、さつきからやつこ一匹御馳走になつてしまふと、急に鼻の先をピクピク動かしながら、又しても灰の中から一匹、焼け死んだ仔豚を探し出して參りました。そして今度は、力一杯それを二つに引き裂く。

『食べなよ、食べなよ、父ちゃん、いゝから食べなよ。』
『金切聲を出して、片方の半分を、ホテイの手の中へ無理矢理に押しこんでしまひました。

『いつそのトヽ、撲ち殺してやらうかしら、この罰當り奴!!』

ホテイは焼けた仔豚を片手に持つたまゝ、ブルブルに身體中慄えて居りました。そこころが、暫らくする。ソラ丁度

ボーボーの場合と同じやうに、ホテイは手の中が、俄にひどく暑くなつて参りました。そして、これもボーボーの場合と同じやうに、思はず手を口の中へ持つてゆきました。そして——ホテイは、いくら一生懸命になつて苦い顔をしてみせようと思つても、それは駄目でした。

さて、それから暫らくする。ホテイ親子は、さつきまでの様子とは打つて變つて、さも仲好さうに並んで座つて、残りの御馳走を、すつかり皮一つ殘らなくなるまで、食べて居りました。

ボーボーは父親から、決してこのことを口外しないやうにさ、堅く命令けられました。だつて、若しか近所の人達

が、こんな出来事を知らうものならば、折角神様が下すつた御馳走を、人間が勝手に焼いて食べたり、不屈も何も、怪しからんといふことで、ひざい目に逢ふに、きまつてゐるからでした。けれどもやつぱり、間もなく妙な噂が近所中に擴まつて参りました。その噂いふのは、ホテイの家が此頃になつて、ひざく度々、火事を出して焼けてしまふといふのです。しかも、もつと變なことは、ホテイの家に、櫻色にクリクリ肥えた可愛い仔豚が生れるご、きつこきまつて火事があるといふのです。それに今迄違つて、火事がある度に、お父さんのホテイは、ボーボーを吐るごころが、目について段々ひざく可愛がるやうになつて参ります。サア、變だ、サア、不審しい……といふ噂が、段々、段々、高くなつて、到頭村の人達が集まつて、相談いふことになりました。で結局ソーッご、ホテイ父子に知れないやうに、一人の家を見張りするごとにきました。果して暫らくして、仔豚が生れるご、いつものやうにチャンと火事を出たではありませんか。そんな譯で、ホテイ親子の恐ろしい祕密は、見張りの村人にすつかり見られてしまひました

た。二人はすぐさま捕へられた上、嚴重な番人をつけて、町の裁判所へ送られることになりました。

さて、いよいよ裁判の日になりましたが、サアその日は大變なことになりました。なにしろ火を食べる珍しい人間だ、といふ噂なので、もう町中の人々が、學者も、商人も、新聞記者も、旅人も、猫も、杓子も、たゞもうゾロゾロ、ゾロゾロ、押しかけて参りました。やがて裁判もお終ひ方になつて、いよいよ裁判長が、一段高い臺の上に上つて、判決を下すことになりました。丁度その時でした。突然陪審官の一人が、立上つて申しました。

『恐れながら、裁判長閣下に申上げます。陪審官ご致しまして、今一つお願ひが御座います。ご申しますのは、判決が御座います前に、この親子の者が訴へられて居りまするその證據の品物、つまり焼けました豚ごやらいふ物を一見致したいもので御座います』

裁判長はこの意外な申出に、一寸考へて居ましたが、『では早速持つて来るやうに申付ける』。

といふ言葉でした。

暫らくするご下役の役人達が、焦茶色に焼けた、クリクリ肥つた仔豚を臺の上に載せて、恭々しく、陪審官達の前へ運んで参りました。陪審達は、一寸不思議さうな顔をして、しばらく眺めて居りましたが、やがて一人が手を延してさも勿體らしい恰好で、仔豚の身體に觸りました。こうでせう、その途端に、陪審官の老人は、アツツ……と言つたかと思ふ、大急ぎで手を口に持つて参りました。それから順番に、一人一人、仔豚に觸つてみては、アツ……、そしてはきまつて手を口に突込みます。だが、もつて、もつて、思議なことは、その後で陪審官達は、一寸お互ひに顔を見合せたかと思ふ、やがてのこゝ、之は又集まつて相談一つするでもない、人々が呆氣にこられてゐる間に、なんう親子は無罪だ、といふ申立てをしてしまひました。

裁判長は、大變賢い人でありましたから、無論すぐ、これは少し變だな、と氣がつきました。でも裁判長はもつて、もつて、賢い人だつたので、その場はそのまゝ知らない顔をして、到頭ホテイ親子は、無罪といふ判決をしてしまひました。その代りに、裁判が終つて、家へ歸る、裁判長

はこつそり人をやつて、町中の仔豚といふ仔豚を、一匹残らず、買ひ集めさせました。

それから一二三日経ちました。まだ日の明るい中でした。裁判長の立派な大きなお家がドンドン、ドンドン、恐ろしい勢で燃えてゐるのが見えました。サア、それからといふものは、奇妙なことに、あちらを向ひても火事だ、こちらを向ひても火事だ、もう町中は毎日火事ばかりになつてしまひました。國中、何處へ行つても、仔豚と材木の値段は日一日と高くなるばかり、國中の保険會社といふ保険會社は、一軒残らず、店を閉めてしまひました。

そんな風で、人々は段々ともう粗末な家ばかり建てるやうになつて、今迄のやうに、競争で立派な家を建てるといふやうなことは、見ようにも見られなくなつてしまひました。そして今にこれでは、大工も、左官も、ろくなつてしまふだらうささへ思はれました。

皆さん、もしこのまゝで續いて居たら、さうでせう。でも、いゝこには、——ほんこに、いゝこには、それが

第六回全國幼稚園關係者大會記

第六回全國幼稚園關係者大會は三月二日三日の兩日に至り大阪市保育會主催の下に同市國民會館に於て開催せられた。

本會は昨年十一月を期して開催せらるべく總ての計畫が進められて居たのであるが同年九月二十一日突如として關西地方を襲つた颶風は大阪市の學校幼稚園に甚大な損害を與へて去つた。ために市當局及校園職員はこれの復興に夙夜奮闘を續けねばならなかつた。それが遂に本年に延期された所以である。以下大會の模様を簡単に述べることしやう。

かくて議長選舉の結果滿場一致の推舉により大會副會長瀧山良一氏議長席に就く。次いで名古屋市保育會代表者より昭和六年同市に於て開催せられた第五回全國幼稚園關係者大會の經過について、神戸市保育會代表者よりは昭和八年十一月神戸市に於ける關西聯合保育會の經過について各報告あり、議事に入る。

この日本大會に參加するもの全國三府三十五縣、遠く満洲國奉天を加へ實に千四百三十餘名、會場國民會館は補助席を設けて尙足らざるの狀態で大阪市教育界未曾有の盛會であつた。

第一日

定刻午前十時振鈴は開會を傳へ、先づ大阪市保育會副會

「幼兒ノ情操陶冶ニ關シ保育上特ニ留意スベキ點如何」
議事係より文部省關係者の出席なきため説明質問を省略する旨の報告あつて直ちに意見發表に移る。

先づ岡山市内山下幼稚園高原園長「日本民族傳統的の國民的情操の涵養」なる點につき日本古來の美風良俗を擧げて日本精神を強調すれば神戸愛兒園望月園長は幼兒の健康

この環境の害を歴史三十年の體験を以て語り、東京市阿佐ヶ谷幼稚園高崎園長、京都翔鸞幼稚園岡本保母、堺市花田口幼稚園ゼ・セツール園長各廣汎なる意見をよく要點をあげて自己の所論を述べ委員附託の動議を以てこゝに前記高崎園長外二十四名の委員附託となり直ちに委員會を開く。時

に十一時三十分、議長休憩を告げてこの間關西聯合保育會の保育功勞者の表彰式に入る。

來賓及全會員そのまゝの參列を得て光榮に輝く沼波護女史外八十二氏に對する表彰式は先づ瀧山大會副會長より、

名古屋市、京都市、神戸市、吉備、堺市、大阪市の順序に各代表者に對し夫々表彰狀記念品の授與に始まり同副會長、被表彰者の功勞と名譽を讃美すれば之に答へて望月

タニ女史感激と興奮を以て謝辭を述べ全會員より祝福の拍手を浴びてこの式を終つた。因にこれは前の關西聯合保育

會に於て決定せられたもので二十五年以上幼兒教育に從事

せられた方々を表彰せられたものである。

午後一時、議長代理副會長岡篤郎氏議長席につき順序により大阪市保育會提出の建議案を上程する。

○建議案

保母ノ資格向上並ニ待遇改善ニ關シ左記事項ヲ其筋ニ建議スルコト

一、幼稚園保母ノ教養程度ヲ小學校本科正教員ト同

等以上タラシムルコト

二、幼稚園長及保母ヲ視學等ニ任用スルノ途ヲ開ク
コト

三、幼稚園長保母ノ若干數ヲ奏任待遇トナス途ヲ開

クコト

四、幼稚園保母ノ月俸額ヲ小學校本科正教員ニ準ゼ

シムルコト

五、幼稚園長及保母ニ對シ年功加俸ヲ給スルコト

本案は年々是等の會に提出可決せられたものである。今

回も慣例によつて主催地保育會より提出せられたわけである旨の説明あつて賛成を求むれば神戸市末正幼稚園長一昨

年關西聯合保育會に於て本案の満場一致の可決を見たる結果建議の經過につき逐一報告する所あり。即決可決を求むれば満場拍手してこゝに本建議案は満場一致可決となる。

次に名古屋市保育會提出協議題に移る。

○協議題

「幼兒ニ國民精神ヲ涵養セシムベキ適切ナル方法如何」

名古屋市保育會より提出理由につき詳細に説明せらるゝ處あり、安井末正幼稚園長再び立つて同園經營の體験を述べて保姆の自覺向上を促し京都市生祥幼稚園江川保姆亦保育者自身の自覺を求め或は家庭教育を説き或は自然的環境の利用を力説し會員一同多大の期待と關心を以て臨まれた

この協議題に對しては時間の關係上京都市日彰幼稚園土坂園長の意見發表を最後として打切られ次の談話題に入る。

○「都市幼稚園ニ於テ幼兒ノ健康増進上效果大ナリト
認メラレタル施設事項ニツキテ承リタシ」

吉備保育會提出

心談等詳細なる發表あり會員の得らるゝ處少くなかつたこと確信する。
以上で大會第一日の行事を滞り無く完了し議長本日の議事終了を告げて、午後二時三十分前後三時間に及ぶ緊張から開放されたのである。
かくて加々美大阪市長上京中につき代理齋藤委員長より観劇御招待につき一場の挨拶を述べ會員並に來賓役員一同大阪歌舞伎座に曾我廻家五郎劇の観劇に向つた。絢爛豪華の舞臺は日本精神を強調して「國の御旗」に幕を開けて涙と笑の夕は恍惚として更け、午後十一時に垂る頃忘れ得ぬ印象の第一日をこゝに終つた。

第二日

午前九時振鈴とともに開會。

文部省諮詢案に對し答申案の報告が委員長東京市阿佐谷幼稚園長よりあり。しかるに該答申案に「敬神」の二字缺如たりとして議場一時に活氣を呈し意見百出。長時間に亘り審議せられ、結局「敬神」の二字を本文に挿入し圓滿解決をみた。これ全く本大會に對しての眞剣なる熱意のあらはれこそ吉備保育會代表者より問題の説明あり、名古屋市立第三幼稚園外三幼稚園より各體育衛生の諸施設、給食の状況苦

力強く思つた。

○次は談話題について、

最近流行ノジャズ並ニ俗謡ノ幼兒生活ニ及ボセル影響

トコレガ對策ニツキ承リタシ 堺市保育會提出

提出方よりの説明あり。

吉備、名古屋、神戸の各保育會より意見發表あり。中にも父性の教育を絶叫された事は大多數が女子の團體にて共鳴者多く大々的拍手。大會中の傑作だつた。

○本日の議事日程終り研究發表に移る。

保育誘導具の新考案に付て 京都市保育會

我が園食事施設について 神戸市保育會

保育の指導原理

紙製作について 静岡市櫻花幼稚園

幼稚園指導遊戯細目 東京市阿佐谷幼稚園

以上各保育會より要領を得たる有益なる研究發表あり

益する處多かつた。

休憩の後三田谷博士の講演に入る。

演題 「幼兒養護」

近時我が醫學の研究は體質の不良なるものに對し、これを如何にすれば改善し得るかといふ所まで進んで來てる。

其の體質の改善は即ち其の體質をよく知るにあり、保育者がその子供の本當の體質をよく知る事が最も大切である。如何にしてこれを知るか、知つてこれを如何なる方法で改善するかにつき圖解し實物につき數時間に亘り懇切なる講演があつた。

同博士多年の研究にまつて一言一句尊い經驗から肺腑をついて出る熱辯に一同は多大の感銘を與へられ拍手裡に降壇せられた。

豫定の行程を過ぎ議事係より閉會を告げられ議長によつて挨拶あり。實に本會は何物もすべてを超越した極く靜かな一面極めて力強い歩みを辿つてきた事は他に見られない。うるはしい會合であつた。大に將來に效果あり尙ほ且つ有意義なる會議であつたと信じ、よろづびにたえない旨の辭あり。

終るや直ちに京都保育會よりの緊急動議あり故關市長、

生田教育部長の靈に約三十秒の黙禱を捧げた。

次に仙臺保育會より一同會員を代表して町寧なる主催者側への謝辭あり。尙議長より次回主催地は、昭和十二年度仙臺市に於て同十五年度は東京市に於て開かるゝ由報告あり。午後〇時二十分盛會裡に解散した。

閉會後一同大毎、大朝兩新聞社、動物園、大阪城、中央市場等の自由見學があつた。

追而本大會詳細なる記録は、大阪市保育會よりパンフレットとして刊行の筈。

(以上)

六七真より

ら間もなく、それはそれは豪い賢い人が生れて、私達に大變有難い發明をして下さつたのです。それは豚だとか、お魚だとか、お肉を焼くのに、なにも懃々お家迄焼かなくとも、金串しだとか、肉焼りとか、大變便利な道具がこさへられるといふ、この大發明をして下さいました。お陰でそれからこいふものは、私達は一度一度お家を焼がなくとも、あの美味しいお魚だとか、お肉だとかを煮たり、焼いたり、美味しくお料理をしていただけるやうになりましたトサ。

さわやかな五月の風に、セルの肌ざわりも新鮮なこのころ皆様身も心もかるくと子供達との毎日をお過しの事と思ひます。

四月に迎へたこども達も一日毎に、こちらのものになります。また、小さい乍らに先輩らしくふるまふこと達は、ますくつゝ込んでみて行けさうになります。本とうに力一ぱんにやらずにはられない五月です。

*

*

*

さきに好評いたゞきました童話に次いで童謡を募集中でございます。お互に一つ勉強してぜひ、少くとも一篇は應募いたさうではございませんか。

(編輯部)

日本幼稚園協会編輯 幼児の教育

會長

東京女子高等師範學校長

下村壽一

主幹

東京女子高等師範學校教授
附屬幼稚園主任事務

倉橋惣三

日本幼稚園協会規則

第一條

本會ハ幼児教育ノ改良發達ヲ圖

ルヲ以テ目的トス

本會ハ日本幼稚園協会ト稱ス

第二條 會員タラントスルモノハ幼稚園

ニ關係アルモノ又ハ幼児教育ニ篤志ナルモトス

第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園

ニ關係アルモノ又ハ幼児教育ニ篤志ナルモトス

第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾

五錢ヲ醸出スヘシ、會員ハ無料ニテ本

會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業

ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ク

第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事

業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒ

テ客員トナスコトアルヘシ

第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本

會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、

モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアル

第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。

但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得

第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ

一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査

一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長一名 會務ヲ總理ス

主幹一名 會長ヲ補佐シテ會務

ヲ掌理ス

幹事若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會

務ヲ分掌ス

評議員若干名 重要ナル事件ニ關シ

會長ノ諮詢ニ應ス

第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモ

ノトス

第十一條 主幹幹事評議員ハ二ヶ月年

期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス

第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ

設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ

第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分

ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變

更スルコトヲ得ス

一、雜誌發行(毎月一回)

一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行

一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介

一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メ

タル事件

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長一名 會務ヲ總理ス

主幹一名 會長ヲ補佐シテ會務

ヲ掌理ス

幹事若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會

務ヲ分掌ス

評議員若干名 重要ナル事件ニ關シ

會長ノ諮詢ニ應ス

第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモ

ノトス

第十一條 主幹幹事評議員ハ二ヶ月年

期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス

第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ

設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ

第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分

ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變

更スルコトヲ得ス

製不複許轉載禁

發編者

東京女子高等師範學校附屬幼稚園

印刷者

東京市本鄉區駒込林町百七十二番地

印刷所

東京市小石川區大塚町三十五

印刷所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園

印刷所

東京市本鄉區駒込林町百七十二番地

印

【著 名 大 四 の 園 稚 幼】

[版 六]

[版 八]

〔版五〕

〔版六十 增訂〕

幼兒稚園所育兒法

保母用書

幼稚園の經營

幼稚園の理論及實際

▲保母検定最良参考書
稚園令施行規則に據る保母に必要なる教育、児童心理管理法を全部網羅し、保母は受験者の参考書。保母養成所、幼稚園教員、幼稚園の理学療法士、幼稚園の保健師、幼稚園の看護師等に必要なる良書。

▲實際的保育方法を詳説する
保育上の實際問題は訓練的
目保育要目を初め詳述す。
▲現代幼稚園經營の模範的
良書 日本の實際的保育方
法を究明精述し更に歐米の
新研究を配し完璧を期す。
▲保母一人に一冊必須必讀

▲唯一の邦文参考書 本書は本邦保育界の耆宿森川先生の力作にて理論實際精述。幼稚園の保育原論は古今の理論内外の實際等諸問題を網羅した無二良書。▲保姆検定の参考書 女高師教科書各府縣指定参考書。

兌發

東洋圖書株式合資會社

東大

東京市神田町内保寺堂安安市阪市南市區町町町町町町



今！御園の御設備に絶好の時期!!

新豫算のもとに、「あれも一臺備へたい」との思想が御座いませば、兎も角も弊館へ御相談下さいませ。

工手間も設備費も、割安にして能率的。従つて御施設は最も經濟的。幼兒の運動具・保育用品を研究し、製造し、販賣すること茲に二十有七年、堅牢にして行届いた工作は、フレーベル館の云々こ、内外の幼稚園のゼネラル・オピニヤンになつてゐます。

- ◇波動廻轉塔 Ocean Waves.....
- ◇メリーゴーラウンド.....
- ◇鐵製椅子 ブランコ.....
- ◇太鼓梯子.....
- ◇スマーリル・セット.....
- ◇大型二十人乘シーソー.....
- ◇箱 積木.....
- ◇ビル氏積木.....
- ◇コンビネーション運動具.....
- ◇杵 登り.....
- ◇鐵製二人乗ブランコ.....
- ◇大型鐵製滑り臺.....
- ◇樂隊遊び用樂器一揃.....
- ◇人形芝居用舞臺・人形一揃.....
- ◇子供の家(社會遊び).....
- ◇その他新案各種運動具.....

八四一七五一
七三三四一八一
七五八五三
圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓

館ルベール 社會株式

番七二八三(33)段九話電・路小川今・田神・京東
番八三九一町本話電・五町後・備・東・阪大
店所彌出